

基本政策 8

豊かな学びにあふれ

健やかな体を育むまち

目 次

基本政策 8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

	頁
8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進	
【104】教育委員会運営事業	254
【105】子どもの居場所づくり推進事業	256
【106】小学校管理事業	258
【107】宇佐美学園管理事業	260
【108】中学校管理事業	262
【109】柏学園管理事業	264
【110】幼稚園管理事業	266
【111】認定こども園管理事業	268
【112】学校関連システムの運用	270
【113】保護者負担軽減	272
【114】教員の指導力向上事業	274
【115】確かな学力の向上事業	276
【116】特別支援教育推進事業	278
【117】教育センター管理事業	280
8-2 希望に満ち、次代を担う子どもの育成	
【118】家庭教育の推進事業	282
【119】青少年の健全育成事業	284
8-3 生涯にわたり学ぶ喜びを分かち合える学習活動の推進	
【120】社会教育会館管理事業	286
【121】生涯学習の推進事業	288
【122】図書館管理事業	290
8-4 スポーツの楽しさが広がる環境づくり	
【123】スポーツ振興事業	292
【124】スポーツ施設管理事業	294

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	教育委員会運営	中事業2	教育広報紙「かがやき」の発行	中事業3
教育委員会運営事業	中事業4		中事業5		中事業6
	中事業7		中事業8		中事業9
	中事業10		中事業11		中事業12
	中事業13		中事業14		中事業15
	中事業16		中事業17		中事業18

1 事業の目的

・首長から独立した合議制の教育委員会として、学校教育や生涯学習・社会教育、芸術文化、スポーツ振興のほか、文化財保護等に取り組み、教育行政の総合的な推進を図る。
 ・教育に関する身近な内容を広報紙「かがやき」で取り上げ、区民や保護者の教育行政に対する理解を促すほか、教育委員会と地域との円滑なコミュニケーションを図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

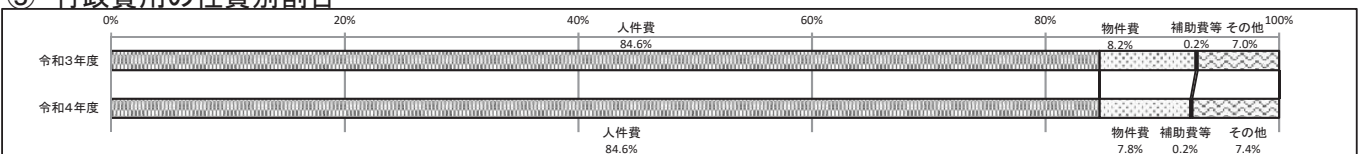
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	41,561,624	44,762,160	3,200,536	行政収入	地方区税	0	0	
	物件費	4,035,959	4,110,082	74,123		特別区財政調整交付金	0	0	
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	
	補助費等	88,000	88,000	0		分担金及び負担金	0	0	
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,421,291	3,931,345	510,054		行政収支差額	△49,106,874	△52,891,587	△3,784,713
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	49,106,874	52,891,587	3,784,713	通常収支差額	△49,106,874	△52,891,587	△3,784,713		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△49,106,874	△52,891,587	△3,784,713		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	49,808,139	53,895,346	4,087,207		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	701,265	1,003,759	302,494		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	人件費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・教育委員報酬 11,952,000円	決算額の主な内訳	・教育広報紙「かがやき」発行委託 3,386,758円 ・教育委員会旅費 282,500円 ・教育委員会定例会議録データ反訳 200,200円
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	・教育委員会旅費実績増 102,500円

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・点検・評価有識者謝礼 88,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

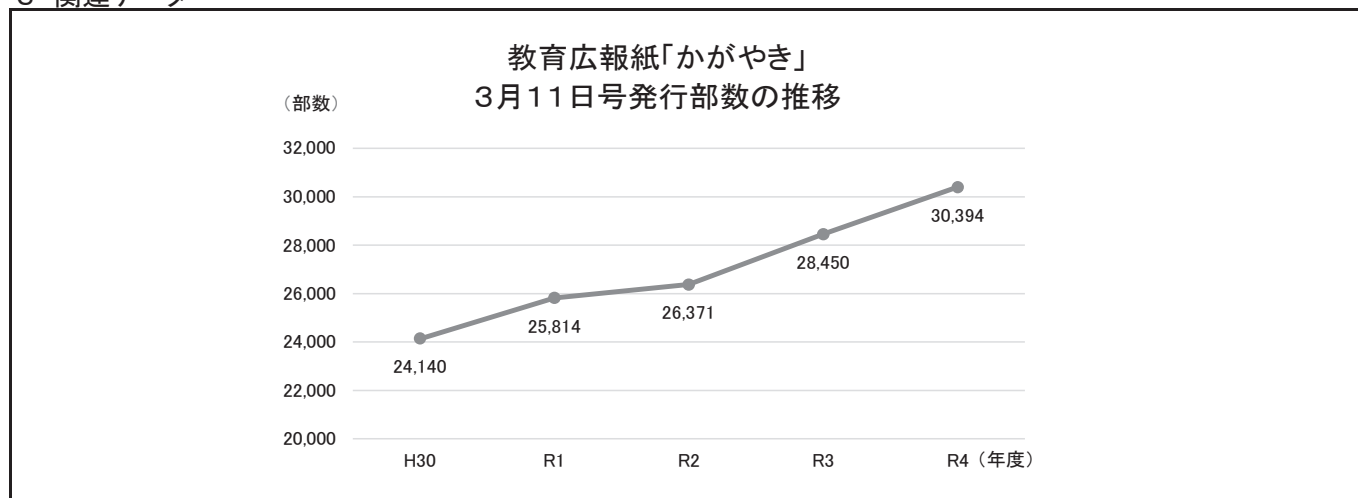
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	1,442,612	1,738,677	296,065
固定資産	土地	0	0	0		その他	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	21,737,268	23,254,254	1,516,986
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		23,179,880	24,992,931	1,813,051
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△23,179,880	△24,992,931	△1,813,051
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		0	0	0
資産の部 合計	0	0	0						

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・教育委員会では、原則、毎月第2水曜日に定例会、必要に応じて臨時会を開会している。また、例年であれば、教育施策先進自治体の視察も行っていたが、コロナ禍のため、令和4年度は管内視察等で区の最新事例に触れるに留まった。引き続き、視察等から得た成果を教育施策に反映させるなど、教育行政の着実な推進を図っていく。

・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、前年度の教育行政事務の管理および執行の状況について、有識者の知見を活用しながら、点検・評価を行い、区議会に報告するとともに、その内容を公表している。

・他の児童・生徒等の模範となる善行や優れた活動など功績が顕著な児童・生徒等に対して表彰を行っている。

・教育広報紙「かがやき」については、配布対象である児童・生徒数および町会・自治会回覧用の部数が増加している。また、保護者等の目に留まるよう紙面デザイン・レイアウトを変更し、より一層教育行政の周知・理解促進を図った。

② 今後の方向性

・「中央区教育振興基本計画2020」に基づき、教育行政の一層の推進を図る。また、各施策について点検・評価の結果により、適切なPDCAサイクルに基づく精査を行うとともに、有識者の意見も参考としながら改善を図る。

・教育広報紙「かがやき」については、学校の現状や教育施策の周知並びに理解促進に向け、掲載内容のさらなる充実を図っていく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つとなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	第二期中央区子ども・子育て支援事業計画

大事業	中事業1	子どもの居場所づくり「プレディ」	中事業2	中事業3
子どもの居場所づくり 推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・地域や保護者を中心とするボランティアの協力のもと、学校施設を活用した子どもの居場所「プレディ」が運営され、子どもたちが放課後や土曜日等に安全・安心に過ごすことができる居場所が整備された状態を安定的に保つ。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

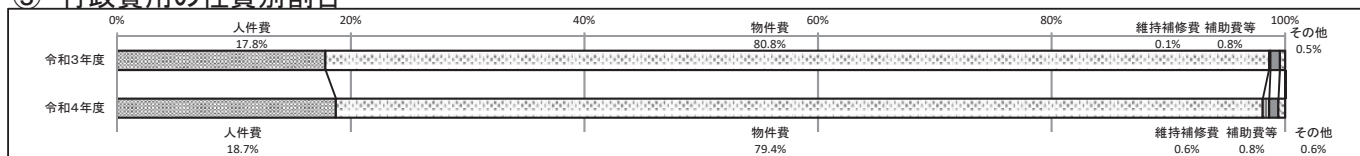
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	86,604,496	93,135,076	6,530,580	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	392,340,247	394,613,785	2,273,538		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	610,390	2,743,620	2,133,230		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	3,904,084	3,892,994	△11,090		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	2,361,426	2,977,539	616,113
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	2,361,426	2,977,539	616,113
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,193,135	2,859,160	666,025		行政収支差額	△483,290,926	△494,267,096	△10,976,170
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	485,652,352	497,244,635	11,592,283	通常収支差額	△483,290,926	△494,267,096	△10,976,170		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△483,290,926	△494,267,096	△10,976,170		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	483,706,855	495,002,303	11,295,448		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	415,929	735,207	319,278		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	・運営委託等 387,555,699円 ・会計年度任用職員旅費 3,197,145円 ・消耗品等購入 1,947,141円	決算額の主な内訳	・直営プレディ会計年度任用職員報酬 58,296,021円 ・直営プレディ会計年度任用職員期末手当 10,976,122円
主な増減理由	・契約金額増による運営委託料増 1,959,230円 ・会計年度任用職員の欠員補充等による旅費実績増 164,477円	主な増減理由	・会計年度任用職員の欠員補充等による報酬増 1,809,961円
勘定科目	補助費等	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・直営プレディ運営協議会補助金 2,044,994円 ・スクールマスター謝金 1,848,000円	決算額の主な内訳	・プレディ延長利用料 2,519,200円
主な増減理由	・直営プレディ運営協議会補助金実績減による補助金減 △11,090円	主な増減理由	・延長利用者実績増による利用料増 432,400円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

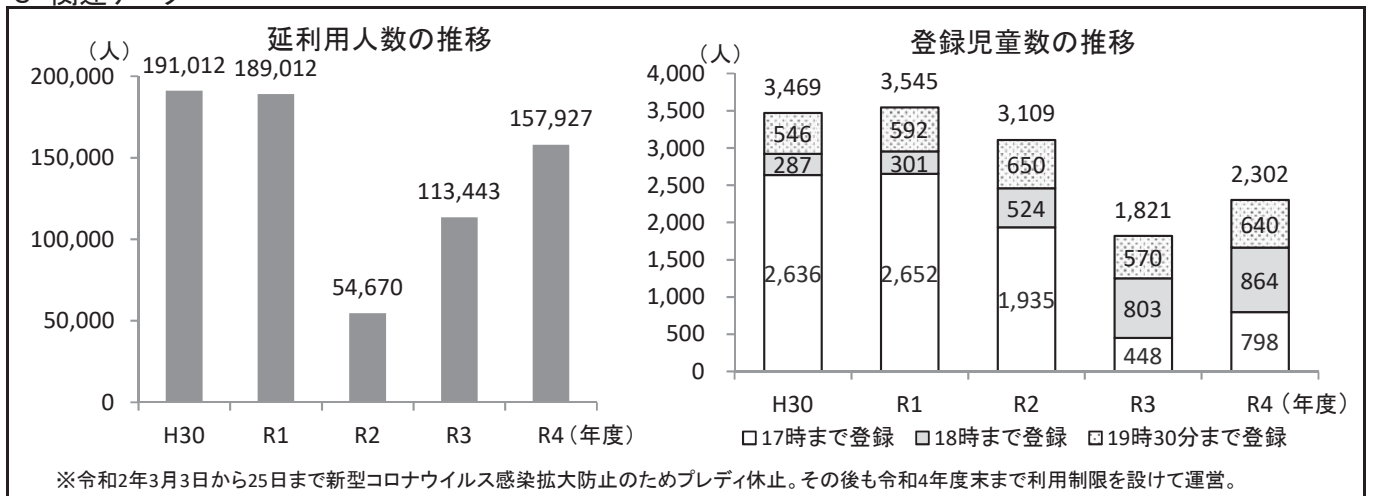
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	241,400	246,600	5,200	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	924,751	1,264,492	339,741
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	13,934,146	16,912,185	2,978,039
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		14,858,897	18,176,677	3,317,780
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△14,617,497	△17,930,077	△3,312,580
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		241,400	246,600	5,200
資産の部 合計		241,400	246,600	5,200					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	収入未済	勘定科目	
決算額の主な内訳	・延長利用料の収入未済 246,600円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・延長利用料未納付額増加による増 5,200円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・平成30年度・令和元年度については、全学年を対象にプレディを運営していたが、コロナ禍の令和2年度は対象を小学1～3年生、令和3年度は小学1～4年生に絞り、保護者が就労していることを利用条件として運営したため、利用者は減少している。令和4年度も当初は小学1～4年生の利用のみとしていたものの、年度途中から利用制限を緩和したことで徐々に利用者数が回復した。引き続き、下校後、自宅に保護者がいない児童の見守りなど、家庭や児童のセーフティーネットとして一定の役割を果たしていく。

・令和4年度からプレディの利用者数が回復していることおよび児童数が増加していることを踏まえ、今後、プレディの登録児童数も増加することが見込まれることから、活動場所の多角化が必要となる。

② 今後の方向性

・子どもたちの安全で安心な居場所の確保を図るため、活動場所を図書室やランチルーム等に拡充するとともに、指導員を増員していく。また、令和6年度からは、順次区立小学校に学童クラブが設置され、プレディと一体化したプレディプラス(仮称)が運用されるため、関係部局と調整を行っていく。

・新型コロナウイルス感染症の5類への移行など、社会動向を注視しつつ、利用対象児童の見直しを行うほか、サポーター活動を全面的に再開・充実していく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート

部課名	教育委員会事務局 学務課、学校施設課
-----	-----------------------

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> 「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、「先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々との協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	小学校教育活動	中事業2	スクールバスの運行	中事業3	小学校通学路防犯設備の管理
小学校管理事業	中事業4	小学校運営一般事務	中事業5	小学校維持管理	中事業6	小学校校舎等改修
	中事業7	小学校給食	中事業8	小学校保健	中事業9	城東小学校の改築
	中事業10	常盤小学校の改修	中事業11	晴海西小学校の整備	中事業12	豊海小学校防潮堤の整備
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・学校ごとの特色ある教育活動や校外学習・宿泊行事、連合行事等を実施し、児童の教育環境の充実を図る。
- ・就学人口の多い月島地域から特認校(城東小・常盤小・阪本小)へのスクールバスの運行や通学路における防犯カメラの設置を通じ、通学の利便性向上や安全対策強化を図っている。
- ・学校給食法に基づき、適切な栄養摂取による健康の保持増進を図るなど7つの目標を掲げ、学校給食の普及充実を図ることで、児童が学校給食を通して、心身の発達や食に関する正しい理解、適切な判断力を身につけることができるようにする。
- ・定期健康診断や学校環境衛生検査等を実施することにより、児童の健康の保持・増進を図る。
- ・小学校施設の老朽化や児童数の増加に対応した施設機能の更新および施設整備を行い、良好な学習空間の確保を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

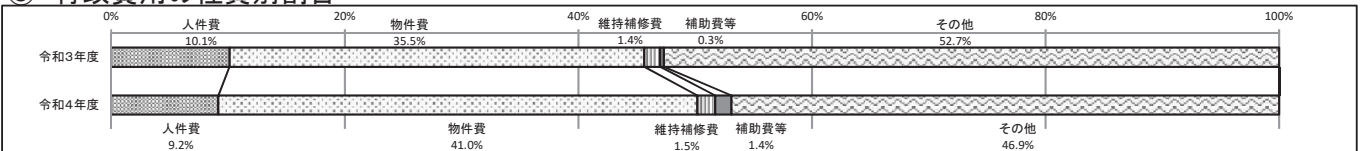
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	509,769,808	476,111,357	△33,658,451	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	1,784,591,893	2,128,703,974	344,112,081		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	69,310,496	79,027,012	9,716,516		国庫支出金	1,651,053	14,179,843	12,528,790
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	904,000	904,000
	補助費等	15,519,155	72,085,706	56,566,551		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	1,118,716,036	742,925,204	△375,790,832		使用料及び手数料	32,881,600	32,918,290	36,690
	減価償却費	1,482,059,662	1,646,180,712	164,121,050		その他	128,808,011	550,352,824	421,544,813
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	163,340,664	598,354,957	435,014,293
	賞与・退職給与引当金繰入額	48,248,982	43,691,539	△4,557,443		行政収支差額	△4,864,875,368	△4,590,370,547	274,504,821
	その他	0	0	0		金融収支差額	△85,009,317	△132,433,686	△47,424,369
小計	5,028,216,032	5,188,725,504	160,509,472	通常収支差額	△4,949,884,685	△4,722,804,233	227,080,452		
特別費用	81,728,958	37,556,336	△44,172,622	当期収支差額	△4,562,981,413	13,501,886,431	18,064,867,844		
特別収入	468,632,230	18,262,247,000	17,793,614,770	一般財源充当調整	3,477,715,181	3,087,778,406	△389,936,775		
特別収支差額	386,903,272	18,224,690,664	17,837,787,392	再計(一般財源調整後)	△1,085,266,232	16,589,664,837	17,674,931,069		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設光熱水費 684,261,103円 ・給食調理業務委託 438,503,560円 ・学校施設維持管理委託 297,345,600円 ・中央区スクールバスの運行委託 118,101,394円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校校舎等改修工事 256,690,482円 ・常盤小学校の改修工事 241,955,700円 ・城東小学校の改築に係る費用 117,850,940円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設光熱水費の実績増 220,399,493円 ・夏季臨海学校の実施による増 21,056,990円 ・小学校移動教室の宿泊数等増加による宿泊費用等の増 13,589,700円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・常盤小学校改修工事費の皆増 241,955,700円 ・城東小学校の改築に係る費用の皆増 117,850,940円 ・月島第二小学校の大規模改修工事費の皆減 △458,394,088円 ・京橋築地小学校の大規模改修工事費の皆減 △342,256,103円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・小破修理費 35,420,647円 ・有馬小学校体育館照明設備改修工事 7,469,000円 ・明石小学校普通教室整備その他工事(建築工事) 6,798,000円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・城東小学校の仮設校舎および仮移転に係る負担金 489,805,368円 ・火災共済給付金 5,543,943円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・有馬小学校体育館照明設備改修工事費の皆増 7,469,000円 ・明石小学校普通教室整備その他工事費(建築工事)の皆増 6,798,000円 ・久松小学校屋上フェンス改修工事費の皆減 △7,920,000 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・城東小学校の仮設校舎および仮移転に係る負担金の皆増 489,805,368円 ・火災給付金の皆増 5,543,943円 ・市街地再開発事業清算金の皆減 △83,346,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

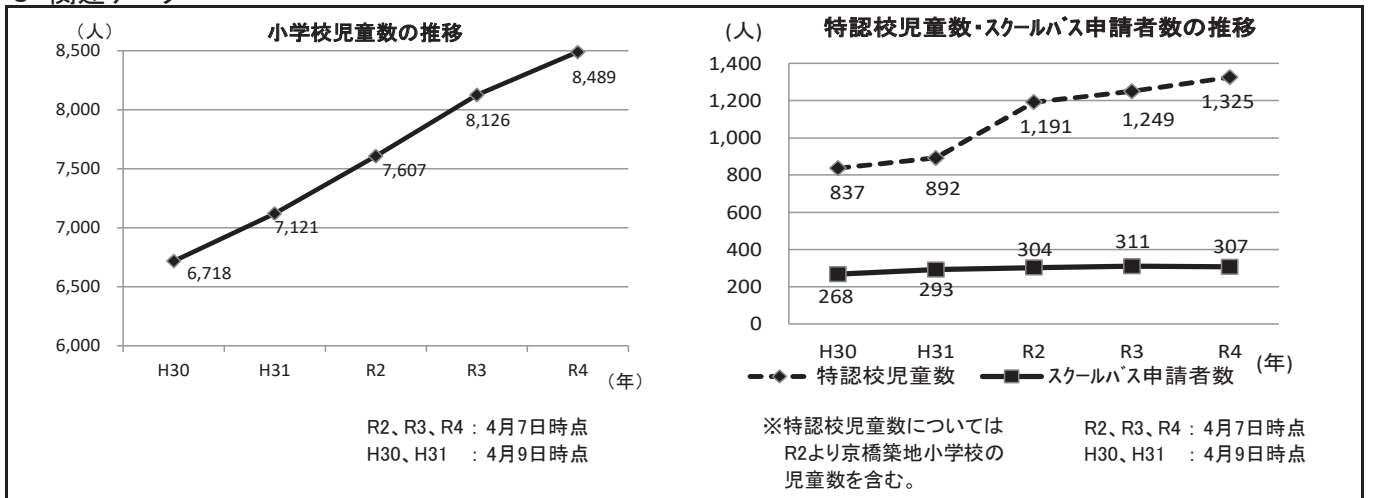
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	530	68,482,000	68,481,470	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	502,771,346	583,054,541	80,283,195
	その他	0	0	0		賞与引当金	20,344,526	19,323,026	△1,021,500
固定資産	土地	24,213,186,824	34,852,863,824	10,639,677,000	固定負債	その他	0	0	0
	建物	33,336,025,438	39,431,771,065	6,095,745,627		特別区債	23,100,886,825	23,302,832,284	201,945,459
	工作物	1,541,778,797	1,398,322,065	△143,456,732		退職給与引当金	306,551,220	258,439,319	△48,111,901
	重要物品	160,916,106	187,179,507	26,263,401		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	23,930,553,917	24,163,649,170	233,095,253	
	建設仮勘定	1,005,052,875	2,578,720,665	1,573,667,790	正味財産の部合計	36,326,406,653	54,353,689,956	18,027,283,303	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	60,256,960,570	78,517,339,126	18,260,378,556	
資産の部 合計		60,256,960,570	78,517,339,126	18,260,378,556					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・小学校建物 39,431,771,065円	決算額の主な内訳	・小学校・併設幼稚園敷地 34,852,863,824円
主な増減理由	・城東小学校取得による増 7,561,305,720円 ・久松小学校工事による増 4,928,000円 ・小学校建物減価償却による減 △1,468,096,093円	主な増減理由	・城東小学校・地域活動センター敷地の増 10,639,677,000円
勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	・晴海西小学校の整備 2,144,236,480円 ・常盤小学校の改修工事 220,800,000円	決算額の主な内訳	・小学校・併設幼稚園工作物 1,398,322,065円
主な増減理由	・晴海西小学校の整備による増 1,231,297,000円 ・常盤小学校改修工事による増 220,800,000円	主な増減理由	・小学校・併設幼稚園工作物減価償却による減 △118,322,013円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・令和4年度の宿泊行事は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りつつ、セカンドスクール、臨海学校および移動教室はコロナ禍以前の通常通りに(2泊3日)実施した。宿泊行事を含む校外学習については、児童数が年々増加する中、感染防止対策のうえ実施する必要があるため、実施日程の調整や宿泊施設の確保等が喫緊の大きな課題である。

・通学路の防犯カメラについては、平成30年度に小学校16校全80台の設置が完了したが、設置後8年以上経過しているカメラもあることから、適正に維持管理を行っていく。

・児童の健康の保持増進のため、成長段階に応じて必要とされる栄養価を適切に摂取できる給食を提供している。

・平成29年度から改築工事を行っていた城東小学校(市街地再開発事業で実施)は、令和4年8月に完成し、9月から使用を開始した。また、晴海地区における生徒数の増加に対応するため、晴海五丁目に晴海西小学校の整備を進めており、一体的に整備する晴海西中学校と合わせて、建設工事を進めていく。

・法律改正により、公立小学校においては、令和3年度から5年以内に1学級35人以下に移行しなければならないことおよび児童数が増加していることから、教室需要の増加に対応する必要がある。

② 今後の方向性

・宿泊行事を含む校外学習については感染症対策を万全にしたうえで実施する。また、今後の児童数の推移を踏まえ、実施内容や実施方法について学校と検討していく。

・通学路の安全強化のため、通学路の防犯カメラの導入時期に合わせた計画的な更新等や、防犯ブザーの配布を実施していく。

・成長期にある児童が必要な栄養素を摂取でき、季節感のある食材に配慮した献立により学校給食を提供する。

・晴海西小学校は、令和6年4月の開校に向けて建設工事を進めていく。

・晴海四丁目に晴海西小学校第二校舎を整備するための設計に着手する。公立小学校の35人学級移行をはじめ、推計児童数の動向を踏まえながら、適宜適切に学校施設・設備の整備を進めていく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	宇佐美学園の運営	中事業2	宇佐美学園の維持管理	中事業3	宇佐美学園の改修
宇佐美学園管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・ぜんそく・肥満・虚弱等の児童が、豊かな自然環境の中で規則正しい生活を通して、健康の回復、増進に努めながら学校教育が受けられるようにするため、健康学園の運営および施設の維持管理を行う。
 ・施設および設備等の老朽化に対して、安全、安心に教育活動が行えるよう改修して、機能維持・更新を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

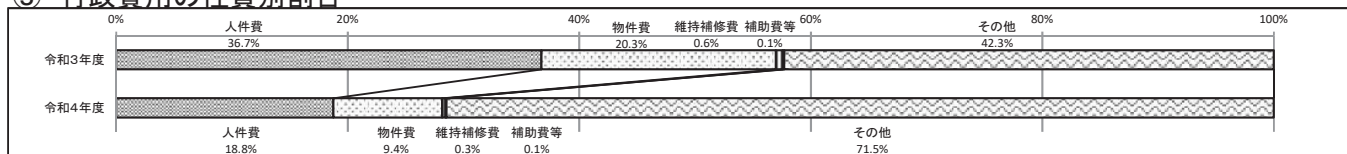
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	122,816,873	142,056,794	19,239,921	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	67,750,288	71,078,423	3,328,135		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	1,930,720	2,310,000	379,280		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	467,500	447,700	△19,800		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	104,098,588	500,036,090	395,937,502		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	27,468,753	29,038,894	1,570,141		その他	6,879,363	9,174,967	2,295,604
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	6,879,363	9,174,967	2,295,604	
	賞与・退職給与引当金繰入額	9,912,971	12,062,079	2,149,108	行政収支差額	△327,566,330	△747,855,013	△420,288,683	
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0	
小計	334,445,693	757,029,980	422,584,287	通常収支差額	△327,566,330	△747,855,013	△420,288,683		
特別費用	1	0	△1	当期収支差額	△327,566,331	△747,855,013	△420,288,682		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	302,129,447	721,895,836	419,766,389		
特別収支差額	△1	0	1	再計(一般財源調整後)	△25,436,884	△25,959,177	△522,293		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・宇佐美学園大規模改修工事 499,634,040円 ・宇佐美学園備品等整備費 402,050円	決算額の主な内訳	・給食調理業務委託 30,576,700円 ・児童等賄費 12,037,097円 ・光熱水費 10,121,142円 ・宇佐美学園用消耗品購入・設備等修繕 4,527,223円
主な増減理由	・宇佐美学園大規模改修工事費の増 403,567,840円 ・宇佐美学園移転等経費の皆減 △454,245円 ・宇佐美学園備品等整備費の減 △161,590円	主な増減理由	・光熱水費増 2,096,249円 ・児童等賄費増 947,027円 ・宇佐美学園用消耗品購入・設備等修繕減 △545,637円
勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・宇佐美学園大規模維持補修工事 2,310,000円	決算額の主な内訳	・児童等学園生活に係る賄費収入 8,163,725円
主な増減理由	・宇佐美学園大規模維持補修工事の増 379,280円	主な増減理由	・児童等学園生活に係る賄費収入の増 1,727,250円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

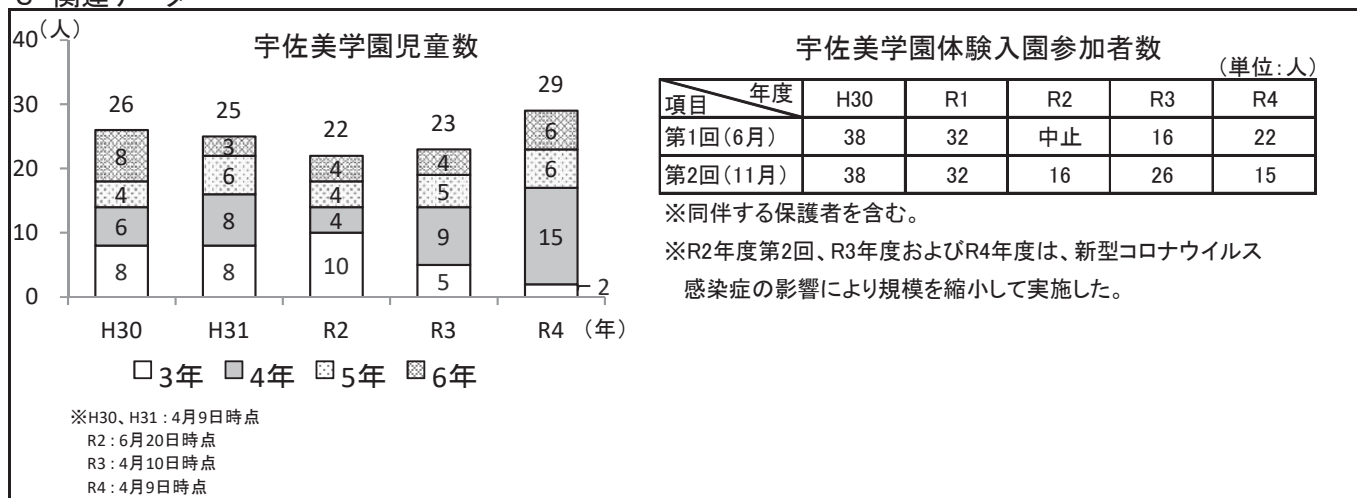
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	4,179,875	5,334,577	1,154,702
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	74,114,725	74,114,725	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	166,601,860	1,074,027,173	907,425,313		退職給与引当金	62,982,341	71,348,278	8,365,937
	工作物	21,655,177	169,275,885	147,620,708		その他	0	0	0
	重要物品	12,154,533	9,853,198	△2,301,335		負債の部合計	67,162,216	76,682,855	9,520,639
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	733,676,399	1,250,588,126	516,911,727	
	建設仮勘定	526,312,320	0	△526,312,320	負債・正味財産の部合計	800,838,615	1,327,270,981	526,432,366	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		800,838,615	1,327,270,981	526,432,366					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	・宇佐美学園建物 1,074,027,173円	決算額の主な内訳	・宇佐美学園工作物 105,940,000円
主な増減理由	・大規模改修工事に伴う宇佐美学園建物取得額の増 932,023,717円 ・宇佐美学園建物減価償却に伴う減 △24,598,404円	主な増減理由	・大規模改修工事に伴う宇佐美学園工作物取得額の増 149,759,863円 ・宇佐美学園工作物減価償却に伴う減 △2,139,155円
勘定科目	土地	勘定科目	重要物品
決算額の主な内訳	・宇佐美学園敷地 74,114,725円	決算額の主な内訳	・宇佐美学園重要物品 9,853,198円
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	・宇佐美学園重要物品減価償却に伴う減 △2,301,335円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・ぜんそくや肥満、虚弱等の小学校3年生から6年生までの児童が、静岡県伊東市の豊かな自然環境の中で寮生活を送り、規則正しい生活やバランスのとれた食生活を通して健康の回復や増進に取り組みながら、区内小学校と同一の教育を受ける場を提供している。

・施設および設備等の老朽化対応やバリアフリー化を図るため、令和2年7月から令和5年1月まで大規模改修工事を実施した。

・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、児童および教職員の体調確認を行い、健康学園の運営に努めた。令和4年度には感染対策を講じつつ、体験入園を2回実施し、宇佐美学園の教育活動を紹介することができた。

② 今後の方向性

・在園児童の人数や健康上の課題等が変化の中で、児童一人一人が必要とする健康の回復や維持・増進のための取組を適切に実施するとともに、区内小学校と同一の教育を提供する場として学園を維持管理していく。

・2年7カ月に及ぶ施設の大規模改修工事が完了し、より一層安全で安心な教育環境を提供していく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート

部課名	教育委員会事務局 学務課、学校施設課
-----	-----------------------

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	<p>・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。</p> <p>・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。</p> <p>・児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つとなる魅力ある学校づくりを推進していきます。</p>
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	中学校教育活動	中事業2	中学校維持管理	中事業3	中学校校舎等改修
中学校管理事業	中事業4	中学校給食	中事業5	中学校保健	中事業6	晴海西中学校の整備
	中事業7	仮校舎の整備	中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・学校ごとの特色ある教育活動や校外学習・宿泊行事、連合行事等を実施し、生徒の教育環境の充実を図る。
- ・学校給食法に基づき、学校給食が生徒の心身の発達や食に関する正しい理解、適切な判断力を身につけるうえで重要な役割を果たすよう、普及充実を図る。また、学校における食育の推進を図る。
- ・定期健康診断や学校環境衛生検査等を実施することにより、生徒の健康の保持・増進を図る。
- ・中学校施設の老朽化や生徒数の増加に対応した施設機能の更新および施設整備を行い、良好な学習空間の確保を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

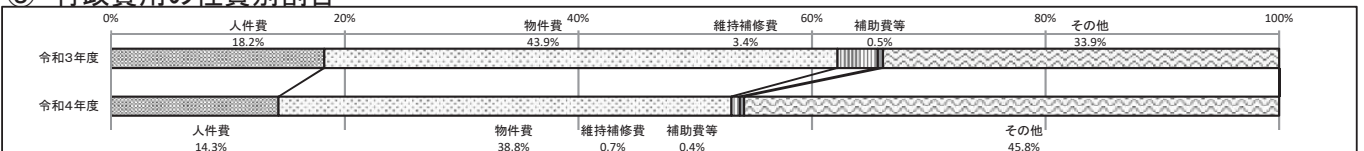
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	163,123,465	162,710,335	△413,130	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	392,834,125	440,531,259	47,697,134		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	30,791,937	8,076,970	△22,714,967		国庫支出金	2,118,447	3,351,177	1,232,730
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	4,089,957	4,361,073	271,116		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	1,893,760	219,708,500	217,814,740		使用料及び手数料	30,924	40,200	9,276
	減価償却費	285,187,357	285,154,911	△32,446		その他	9,717,550	10,591,800	874,250
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	11,866,921	13,983,177	2,116,256
	賞与・退職給与引当金繰入額	16,053,752	15,457,333	△596,419		行政収支差額	△882,107,432	△1,122,017,204	△239,909,772
	その他	0	0	0		金融収支差額	△3,815,982	△616,532	3,199,450
小計	893,974,353	1,136,000,381	242,026,028	通常収支差額	△885,923,414	△1,122,633,736	△236,710,322		
特別費用	0	1	1	当期収支差額	△885,923,414	△1,122,633,737	△236,710,323		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	604,026,606	841,425,424	237,398,818		
特別収支差額	0	△1	△1	再計(一般財源調整後)	△281,896,808	△281,208,313	688,495		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設光熱水費 129,716,451円 ・給食調理業務委託 105,832,650円 ・学校施設維持管理委託 43,936,439円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・銀座中学校屋上防水改修工事 125,290,000円 ・晴海西中学校の整備 75,515,000円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設光熱水費の増 39,252,537円 ・給食調理業務委託実績増による委託料増 1,372,750円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・銀座中学校屋上防水改修工事の皆増 125,290,000円 ・晴海西中学校の整備の増 73,621,240円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設備改修工事 8,076,970円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・日本橋プラザ土地貸付収入 7,047,000円 ・中学校移動教室に係る賄費収入 3,395,200円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・銀座中学校受変電設備改修工事費の皆減 △10,835,000円 ・晴海中学校体育館照明設備改修工事費の皆減 △7,370,550円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校移動教室実施に係る賄費収入の増 911,650円 ・日本橋プラザ土地貸付収入の減 △187,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

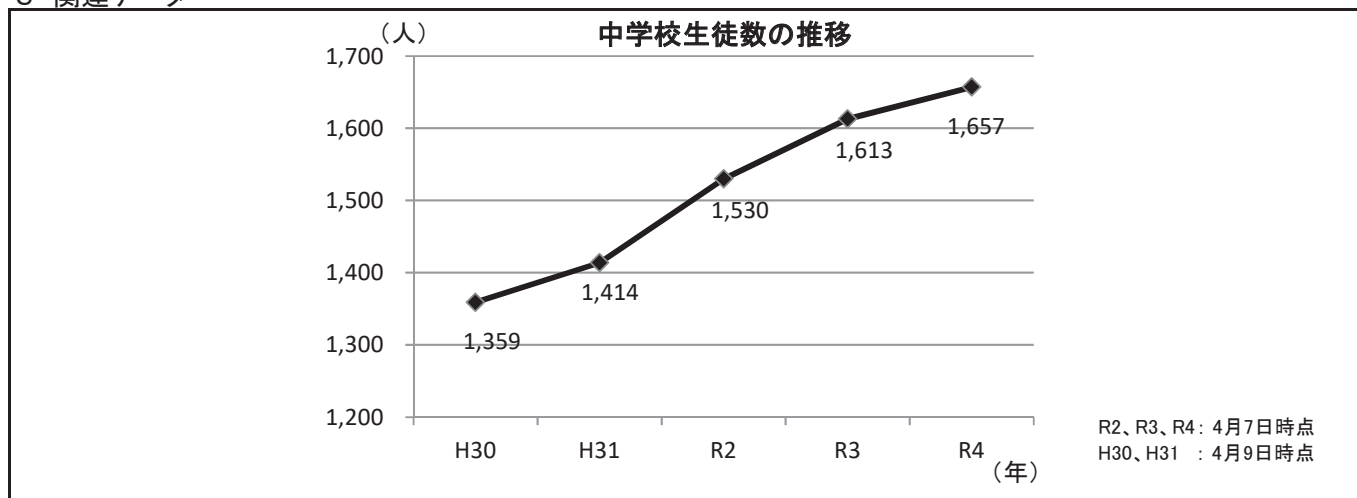
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	58,715,000	58,715,000	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	6,769,179	6,836,162	66,983
固定資産	土地	19,400,498,116	19,400,498,116	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	3,064,677,053	2,814,884,411	△249,792,642		特別区債	307,000,000	862,000,000	555,000,000
	工作物	174,058,348	154,558,513	△19,499,835		退職給与引当金	101,997,952	91,431,498	△10,566,454
	重要物品	68,754,204	52,891,769	△15,862,435	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	415,767,131	960,267,660	544,500,529	
	建設仮勘定	478,526,440	1,410,841,940	932,315,500	正味財産の部合計	22,770,747,030	22,932,122,089	161,375,059	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	23,186,514,161	23,892,389,749	705,875,588	
資産の部 合計		23,186,514,161	23,892,389,749	705,875,588					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	土地	勘定科目	建物
決算額の主な内訳	・中学校敷地 19,400,498,116円	決算額の主な内訳	・中学校建物 2,814,884,411円
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	・中学校建物減価償却による減 △249,792,642円
勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	晴海西中学校建設工事 1,361,235,240円 銀座中学校大規模改修工事 49,606,700円	決算額の主な内訳	中学校工作物 154,558,513円
主な増減理由	晴海西中学校建設工事費の増 928,603,000円	主な増減理由	中学校工作物減価償却による減 △19,499,835円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・令和4年度の宿泊行事は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りつつ、例年通り2泊3日で実施した。宿泊行事を含む校外学習においては、生徒数が増加傾向にある中、感染防止対策のうえ実施する必要があるため、実施日程の調整や宿泊施設の確保等が課題である。

・生徒の健康の保持増進のため、成長段階に応じて必要とされる栄養価を適切に摂取できる給食を提供している。

・晴海地区における生徒数の増加に対応するため、晴海五丁目に晴海西中学校の整備を進めており、一体的に整備する晴海西小学校と合わせて、建設工事を進めていく。

② 今後の方向性

・宿泊行事を含む校外学習については、感染症対策を万全にしたうえで実施する。また、生徒数の推移を注視しつつ、引き続き学校とともに効果的かつ効率的な実施に努めていく。

・成長期にある生徒に必要な栄養素を提供するとともに、季節感のある食材に配慮した献立により学校給食を提供する。

・晴海西中学校は、令和6年4月の開校に向けて建設工事を進めていく。

・日本橋中学校の改築に向けての設計に着手する。また、解体・建設工事期間中に使用する仮校舎の整備に向け、準備作業を進める。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	<p>・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。</p> <p>・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。</p> <p>・児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。</p>
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	柏学園の運営	中事業2	柏学園の維持管理	中事業3	柏学園社会教育利用
柏学園管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・自然環境に親しむ機会が少ない小中学校・幼稚園の児童・生徒・園児に対し、芋掘りやセカンドスクール、部活動合宿等学園の自然環境や施設等をいかした教育活動の場を提供する。
 ・学校が利用する期間を除き、区内在住・在勤者および教育委員会が認める団体が、社会教育および社会体育を目的とした団体生活学習およびレクリエーション活動等を行う場所として、柏学園の施設を提供する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

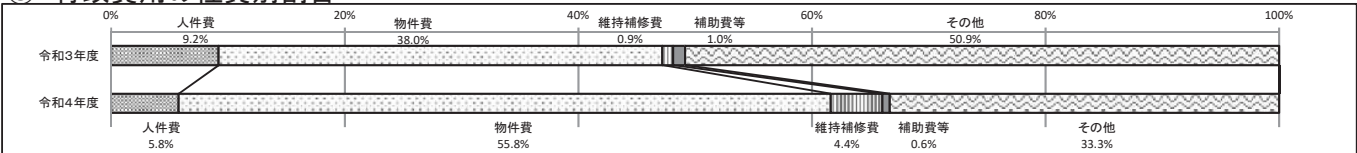
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	11,981,810	11,795,138	△186,672	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	49,438,565	113,999,432	64,560,867		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	1,200,100	9,002,950	7,802,850		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0
	補助費等	1,321,560	1,321,560	0		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	34,520	107,750
	減価償却費	65,223,109	67,150,677	1,927,568		その他	339,663	6,755,290
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	374,183	6,863,040
	賞与・退職給与引当金繰入額	964,979	893,488	△71,491		行政収支差額	△129,755,940	△197,300,205
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	130,130,123	204,163,245	74,033,122	通常収支差額	△129,755,940	△197,300,205		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△129,755,940	△197,300,205		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	64,730,624	130,377,654		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△65,025,316	△66,922,551		
							△1,897,235	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・教材園管理・園舎清掃等業務委託 58,168,000円 ・給食業務・施設開放受付管理等業務委託(社会教育・社会体育利用) 30,137,800円 ・光熱水費 9,298,284円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・柏学園教材園撤去工事 8,250,000円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区立柏学園教材園管理・園舎清掃等業務委託の単価増に伴う委託料増 27,973,000円 ・中央区立柏学園給食業務等委託(学校利用)の実績増に伴う委託料増 23,646,348円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・柏学園教材園撤去工事費皆増 8,250,000円
勘定科目	補助費等	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・柏学園借地料 1,314,360円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・移動教室等賄費収入 5,153,302円 ・生涯学習事業参加費収入 1,600,000円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・増減なし 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊行事を再開したことによる実績増 5,153,302円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

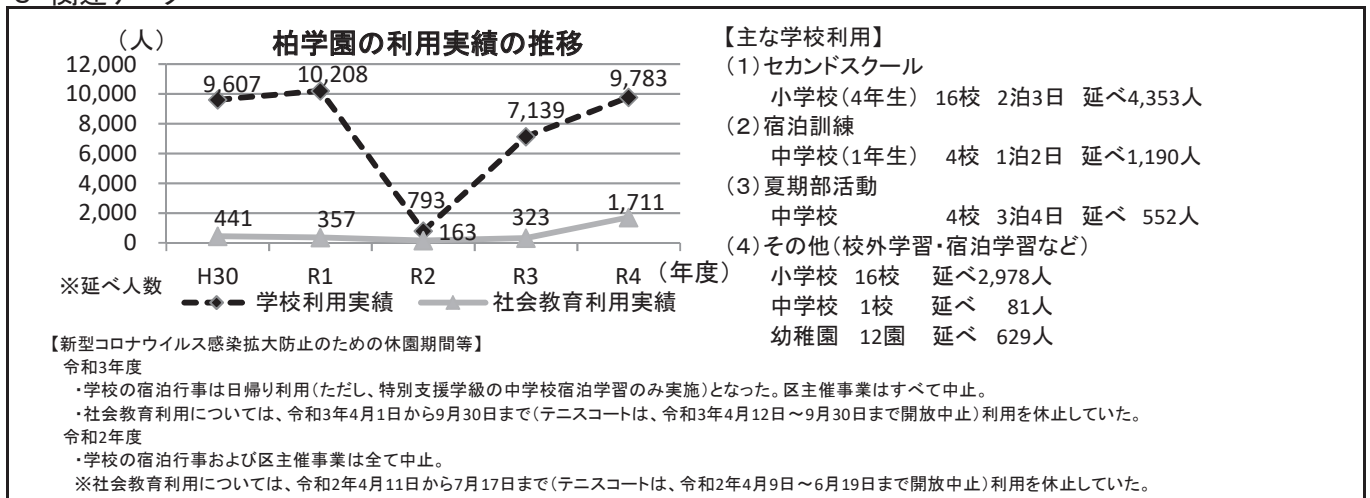
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	406,890	395,154	△11,736
固定資産	土地	544,216,608	544,216,608	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	885,503,946	823,341,783	△62,162,163		特別区債	0	0	0
	工作物	29,636,848	27,049,686	△2,587,162		退職給与引当金	6,131,024	5,285,058	△845,966
	重要物品	8,893,096	6,491,744	△2,401,352	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	6,537,914	5,680,212	△857,702	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,461,712,584	1,395,419,609	△66,292,975	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,468,250,498	1,401,099,821	△67,150,677	
資産の部 合計		1,468,250,498	1,401,099,821	△67,150,677					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・柏学園建物 823,341,783円	決算額の主な内訳	・柏学園敷地 544,216,608円
主な増減理由	・柏学園建物減価償却による減 △62,162,163円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	工作物	勘定科目	重要物品
決算額の主な内訳	・柏学園工作物 27,049,686円	決算額の主な内訳	・柏学園給食設備 6,491,744円
主な増減理由	・柏学園工作物減価償却による減 △2,587,162円	主な増減理由	・柏学園給食設備減価償却による減等 △2,401,352円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

千葉県柏市にある柏学園は、区立小・中学校の児童・生徒および幼稚園の園児に対して、セカンドスクールや、部活動合宿など、学園の自然環境や施設を活用して行う校外学習の場を提供することで、学校教育の充実に寄与している。

・区民の生涯学習の振興および施設の有効活用の観点から、土・日曜日や夏季・春季休業期間中等、学校等が利用しない日に、社会教育利用として区内在住・在勤・在学者の団体がスポーツやレクリエーション活動などを行うための施設として開放している。

・令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用実績が減少したが、令和4年度には、セカンドスクール等の宿泊行事を予定通り実施し、小・中学校の利用実績をコロナ禍以前の水準まで回復することができ、5年間を通じて自然環境等を活かした校外学園としての役割を果たした。

② 今後の方向性

・児童数等が増加傾向にある中、学校等が校外学習を効果的かつ円滑に実施することができるよう、利用方法についても適宜見直しを行い、良好な教育環境を維持していく。

・社会教育利用については、今後も学校等による施設利用との調整を図りながら、区民の生涯学習の振興や施設の有効活用の観点から、利用者にとって使いやすい施設運営を行う。

・校外学習施設である柏学園については、学園の自然環境などをいかして、充実した体験学習の場とするための機能強化を図る。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	<p>「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。</p> <p>・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。</p> <p>・児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々との協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。</p>
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	幼稚園保育経費	中事業2	幼稚園維持管理	中事業3	幼稚園園舎等改修
幼稚園管理事業	中事業4	幼稚園保健	中事業5	久松幼稚園移転に伴う常盤幼稚園等の改修	中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・幼稚園ごとの特色ある教育活動や遠足、運動会等を実施し、園児の教育環境の充実を図る。
- ・定期健康診断や学校環境衛生検査等を実施することにより、園児の健康の保持・増進を図る。
- ・幼稚園施設の老朽化等に対応した施設機能の更新を行い、良好な幼児期教育空間の確保を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

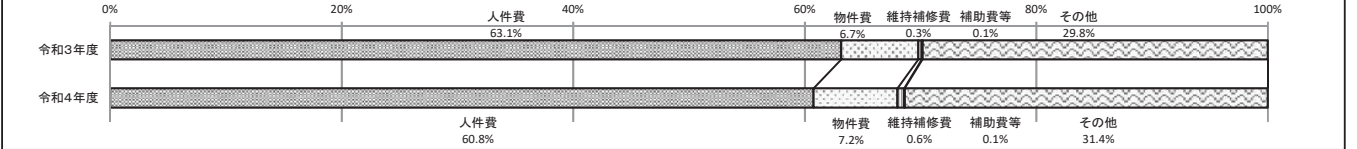
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	864,538,113	809,001,366	△55,536,747	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	91,311,579	96,498,517	5,186,938		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	4,064,330	7,755,110	3,690,780		国庫支出金	434,000	462,000	28,000
	扶助費	0	0	0		都支出金	850,000	773,000	△77,000
	補助費等	847,050	779,245	△67,805		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	177,191,295	158,473,071	△18,718,224		使用料及び手数料	7,086,200	7,153,200	67,000
	減価償却費	135,529,867	169,011,955	33,482,088		その他	292,846	0	△292,846
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	9,775	63,541	53,766		小計	8,663,046	8,388,200	△274,846
	賞与・退職給与引当金繰入額	95,682,597	90,084,052	△5,598,545		行政収支差額	△1,360,511,560	△1,323,278,657	37,232,903
	その他	0	0	0		金融収支差額	△11,033,101	△10,221,119	811,982
小計	1,369,174,606	1,331,666,857	△37,507,749	通常収支差額	△1,371,544,661	△1,333,499,776	38,044,885		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△1,371,544,661	△1,333,499,776	38,044,885		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	1,258,460,521	1,190,351,256	△68,109,265		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△113,084,140	△143,148,520	△30,064,380		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・久松幼稚園移転に伴う常盤幼稚園の改修工事 111,261,300円 ・泰明幼稚園改修工事 45,622,122円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 40,632,273円 ・幼稚園保育経費に要する物品購入・印刷経費等 25,316,104円 ・幼稚園園舎等維持管理委託 15,034,025円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・久松幼稚園移転に伴う常盤幼稚園の改修・工事の皆増 111,261,300円 ・泰明幼稚園改修工事の皆増 45,622,122円 ・月島幼稚園大規模改修工事費の皆減 △72,146,545円 ・月島第二幼稚園大規模改修工事費の皆減 △58,966,765円 ・京橋朝海幼稚園大規模改修工事費の皆減 △44,716,186円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費の増 10,145,667円 ・幼稚園保育経費に要する物品購入費等の減 △3,820,790円
勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・有馬幼稚園プール改修その他工事 4,985,200円 ・小破修理費 2,769,910円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育料等収入 7,153,200円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・有馬幼稚園プール改修その他工事の皆増 4,985,200円 ・小破修理費の減 △1,294,420円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育料等収入の増 67,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

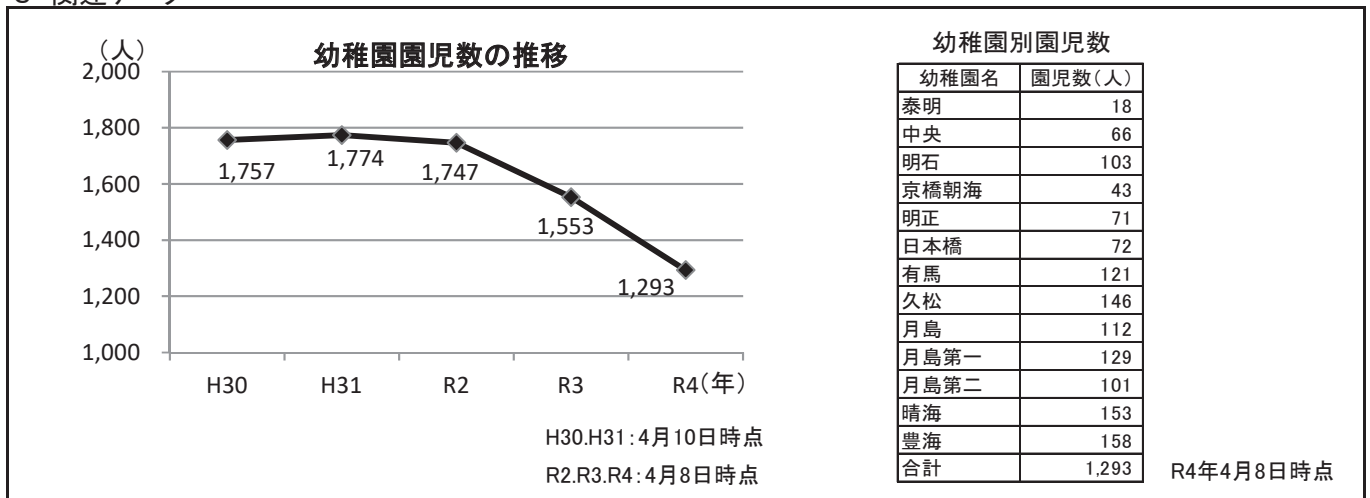
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	574,500	483,600	△90,900	流動負債	還付未済金	9,000	0	△9,000
	不納欠損引当金	△88,119	△65,360	22,759		特別区債	137,188,215	138,007,611	819,396
	その他	0	0	0		賞与引当金	39,772,215	39,403,527	△368,688
固定資産	土地	784,665	784,665	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	4,001,911,726	3,839,371,283	△162,540,443		特別区債	1,902,603,073	1,764,595,462	△138,007,611
	工作物	79,067,445	72,595,933	△6,471,512		退職給与引当金	614,217,171	537,490,363	△76,726,808
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	2,693,789,674	2,479,496,963	△214,292,711	
	建設仮勘定	0	198,722,878	198,722,878	正味財産の部合計	1,388,460,543	1,632,396,036	243,935,493	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	4,082,250,217	4,111,892,999	29,642,782	
資産の部 合計		4,082,250,217	4,111,892,999	29,642,782					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	建設仮勘定
決算額の主な内訳	・幼稚園建物 3,839,371,283円	決算額の主な内訳	・常盤幼稚園内部改修工事 101,500,000円 ・泰明幼稚園内部改修工事 97,222,878円
主な増減理由	・幼稚園建物減価償却による減 △162,540,443円	主な増減理由	・常盤幼稚園内部改修工事費の皆増 101,500,000円 ・泰明幼稚園内部改修工事費の皆増 97,222,878円
勘定科目	工作物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・幼稚園工作物 72,595,933円	決算額の主な内訳	・幼稚園敷地 784,665円
主な増減理由	・幼稚園工作物減価償却費による減 △6,471,512円	主な増減理由	・増減なし

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・小学校の通学区域に準じて通園区域を設定しているほか、保幼小連携の取組を進めることにより、園児の小学校への円滑な移行が可能となっている。
- ・令和4年度においては、すべての区立幼稚園で入園希望者を受け入れることができている。近年、全体の園児数は減少傾向にあるため、未就園児を対象とした未就園児の会を開催するなど、区立幼稚園の取組を充実し、魅力を広く発信していく必要がある。
- ・施設の経年劣化対応や長寿命化等を図るため、施設の改修を行っている。

② 今後の方向性

- ・併設小学校との連携や運動遊びの推進など、これまでの区立幼稚園の特色ある教育を引き続き進めながら、幼児教育の質の向上を図っていく。
- ・区立幼稚園紹介動画やリーフレットを制作して、区立幼稚園の魅力をより広く発信していくとともに、各園で未就園児を対象とした交流会や新たな子育て支援策の充実を図るなど、入園希望者に向けた取組を強化していく。
- ・計画的に各幼稚園施設の改修を行い、機能更新とともに長寿命化を図る。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート

部課名	教育委員会事務局 学務課、学校施設課
-----	-----------------------

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	<p>・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。</p> <p>・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。</p> <p>・児童数が増加する中であっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。</p>
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	子ども・子育て支援給付事業に係る施設型給付	中事業2	認定こども園に対する助成等	中事業3	認定こども園維持管理
認定こども園管理事業	中事業4	晴海地区認定こども園の整備	中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・学校整備等の機会を捉え認定こども園(幼保連携型)を設置し、幼児期の学校教育だけでなく保育に対するニーズにも適った施設の整備を行う。
 ・区内の幼保連携型認定こども園の運営支援を行い、安定した運営につなげることで、教育・保育のさらなる充実を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

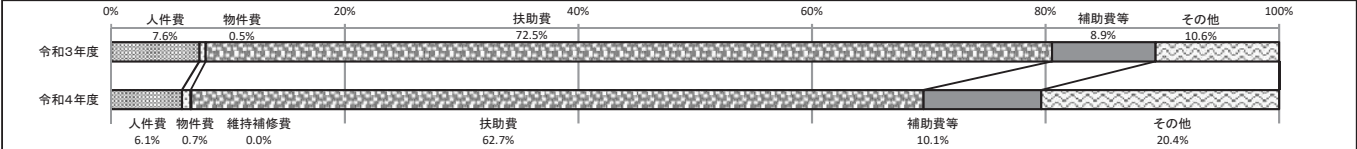
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	18,705,921	16,474,970	△2,230,951	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	1,332,626	2,035,707	703,081		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	116,600	116,600		国庫支出金	67,686,053	63,762,237
	扶助費	179,393,540	170,455,270	△8,938,270		都支出金	49,246,323	52,531,369
	補助費等	21,929,398	27,435,740	5,506,342		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	29,474,500	29,474,500		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	24,096,534	24,096,534	0		その他	10,626,149	10,864,901
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	127,558,525	127,158,507
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,105,409	1,786,976	△318,433		行政収支差額	△120,004,903	△144,717,790
	その他	0	0	0		金融収支差額	△3,505,785	△2,301,785
小計	247,563,428	271,876,297	24,312,869	通常収支差額	△123,510,688	△147,019,575		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△123,510,688	△147,019,575		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	99,845,702	123,379,294		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△23,664,986	△23,640,281		
							24,705	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	扶助費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 施設型給付費 134,159,420円 運営費等補助金 36,295,850円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 渋谷教育学園晴海西こども園建設工事 29,474,500円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 支出対象園児の減に伴う運営費等補助金の減 △5,469,900円 支出対象園児の減に伴う施設型給付費の減 △3,468,370円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 渋谷教育学園晴海西こども園建設工事費の皆増 29,474,500円

勘定科目	国庫支出金	勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 子どものための教育・保育給付費国庫負担金 56,961,917円 保育対策総合支援事業費補助金 2,940,000円 保育対策・保育士処遇改善等臨時特例交付金 1,891,320円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 子どものための教育・保育給付費都費負担金 32,412,384円 保育士等キャリアアップ補助金 8,583,000円 保育従事職員宿舍借り上げ支援事業補助金 3,436,000円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 保育対策総合支援事業費補助金の増 2,690,000円 保育対策・保育士処遇改善等臨時特例交付金の増 1,410,320円 子どものための教育・保育給付費国庫負担金の減 △8,178,136円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の皆増 2,112,990円 保育所等利用多子世帯負担軽減事業費補助金の皆増 1,994,250円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	2,982,821	8,419,535	5,436,714
	その他	0	0	0		賞与引当金	887,761	790,308	△97,453
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	443,657,121	426,802,214	△16,854,907		特別区債	740,017,179	1,132,597,644	392,580,465
	工作物	97,154,213	89,912,586	△7,241,627		退職給与引当金	13,376,780	10,570,116	△2,806,664
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	757,264,541	1,152,377,603	395,113,062	
	建設仮勘定	387,450,000	920,954,000	533,504,000	正味財産の部合計	170,996,793	285,291,197	114,294,404	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	928,261,334	1,437,668,800	509,407,466	
資産の部 合計		928,261,334	1,437,668,800	509,407,466					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	建物
決算額の主な内訳	・渋谷教育学園晴海西こども園の整備 920,954,000円	決算額の主な内訳	・阪本こども園建物 426,802,214円
主な増減理由	・渋谷教育学園晴海西こども園の整備費の増 533,504,000円	主な増減理由	・阪本こども園建物減価償却による減 △16,854,907円
勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・阪本こども園工作物 89,912,586円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・阪本こども園工作物減価償却による減 △7,241,627円	主な増減理由	—

3 関連データ

(1) 阪本こども園(令和3年4月開設)

○施設概要

- ・延べ床面積 園舎:831.56㎡、園庭:478.79㎡
- ・定員 117名【1号認定(幼稚園部分)45名、2号・3号認定(保育所部分)72名】

(2) 渋谷教育学園晴海西こども園(令和6年4月開設予定)

○施設概要

- ・延べ床面積 園舎:約3,369㎡、園庭:未定
- ・定員 開設時230名【1号認定(幼稚園部分)130名、2号・3号認定(保育所部分)100名】

○整備スケジュール

平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
基本設計	実施設計	諸調整	起工・準備工事等	整備		開設(予定)

4 総括

① 現状・成果・課題

・阪本こども園については、運営事業者に対し施設型給付費の支給や運営費補助金等の交付を行うとともに、新たに幼稚園教諭免許状取得支援補助事業を実施することで、運営支援を強化した。また、職員による定期巡回や実地検査を実施し、必要に応じて適切な指導を行うことで、教育・保育の質の向上を図った。

・渋谷教育学園晴海西こども園については、令和6年4月の開設に向けて建設工事等を進めている。また、公私連携協定の締結に向けて運営事業者と運営の諸条件に関する協議を行うなど、開設準備を進めた。

② 今後の方向性

・阪本こども園については、運営事業者に対し引き続き施設型給付や運営費補助金等の交付を行い、運営を支援していく。また、職員による定期巡回や実地検査を継続して実施し、必要に応じて適切な指導を行うことで、さらなる教育・保育の質の向上を図っていく。

・渋谷教育学園晴海西こども園については、令和6年4月の開設に向けて建設工事を進めていく。また、公私連携協定の締結や園児募集等を行い、開設準備を着実に進めていく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> 「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	校務支援システムの運用	中事業2	就学システムの運用	中事業3	学校納付金システムの運用
学校関連システムの運用	中事業4	ICT環境の整備	中事業5	幼稚園ICTシステムの運用	中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・校務支援システムの導入により、児童・生徒の基本情報を一元管理することで、成績データ等の情報の共有化、校務の負担軽減を図り、児童・生徒に対する指導を充実するとともに、情報管理の安全性を高め、セキュリティの向上を図る。

・就学事務にあたって導入している就学システムは、児童・生徒の就学先情報を住民基本台帳情報と連携して管理するとともに、学齢簿管理上必要な事項の管理、対象者の抽出・案内、指導、統計事務等に活用することで事務の効率化・適正化を図る。

・学校納付金システムの整備により、小、中学校における学校納付金の徴収、管理等の事務の円滑化を図る。

・GIGAスクール構想に基づき全児童・生徒に1人1台のタブレット端末を貸与するなど、ICT機器・ツールなどの授業支援システムを整備し、学校における個人、グループでの調べ学習や家庭学習のツールとして活用することで、学習意欲やICT活用スキルの向上を図る。

・幼稚園では、動画や写真などの活用による教育活動の充実に向けたタブレット端末を各学級に整備するとともに、アプリによる欠席連絡、園からのお知らせの配信などを行う園務支援システムを導入し、保育の質の向上や家庭との連携強化、保護者の利便性向上などを図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

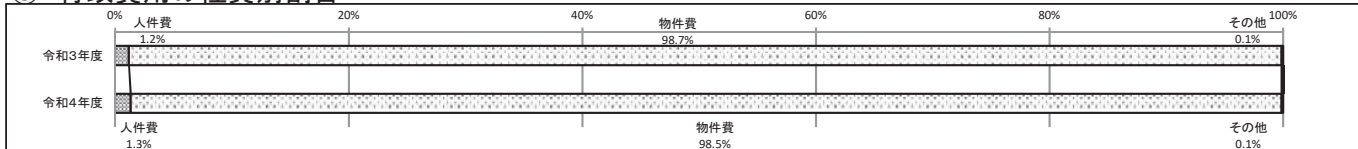
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	11,126,028	12,430,546	1,304,518	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	928,819,525	918,958,890	△9,860,635		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	2,573,000	2,940,000
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	7,872,000
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	90,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	2,573,000	10,902,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,228,156	1,340,232	112,076		行政収支差額	△938,600,709	△921,827,668
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	941,173,709	932,729,668	△8,444,041	通常収支差額	△938,600,709	△921,827,668		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△938,600,709	△921,827,668		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	938,852,445	922,169,858		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	251,736	342,190		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	・次期授業支援システムの導入に伴うタブレット端末およびソフトウェア等の借入れ(第二次) 234,124,651円 ・次期授業支援システムの導入に伴うタブレット端末およびソフトウェア等の借入れ 213,221,580円 ・次期授業支援システム運用保守に係る業務委託 192,246,120円	決算額の主な内訳	・公立幼稚園におけるICT環境整備支援事業補助金 4,932,000円 ・東京都GIGAスクール運営支援センター整備支援事業補助金 2,940,000円
主な増減理由	・幼稚園ICTシステムの新規導入に伴うライセンス料等の皆増 6,652,737円 ・構築業務完了に伴う次期授業支援システム第三次構築業務委託料の皆減 △10,582,000円 ・期間終了に伴うICT教育推進校向けタブレット端末等の借入れ料の皆減 △5,479,920円	主な増減理由	・公立幼稚園におけるICT環境整備支援事業補助金の皆増 4,932,000円 ・東京都GIGAスクール運営支援センター整備支援事業補助金の皆増 2,940,000円

勘定科目	国庫支出金	勘定科目	
決算額の主な内訳	・公立学校情報機器整備費補助金 2,940,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・補助率増に伴う補助金増 367,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	517,861	592,731	74,870
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	7,803,122	7,927,587	124,465
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	8,320,983	8,520,318	199,335	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△8,320,983	△8,520,318	△199,335	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0	
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

【1人1台端末等の整備台数】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
普通学級用タブレット	新規整備3,738台	追加整備6,839台	追加整備586台
特別支援学級用タブレット	新規整備85台	追加整備23台	追加整備10台
大型提示装置(電子黒板機能付きプロジェクタ)	新規整備300台	—	追加整備13台
大型提示装置(電子黒板機能付きディスプレイ)	—	—	新規整備156台

4 総括

① 現状・成果・課題

・校務支援システムの導入によって、教員の校務負担を軽減している。
 ・学習指導要領の改訂や法改正にあわせてシステムを改修する必要がある。
 ・就学システムについては、令和7年度のシステム標準化(国の示す標準仕様書に準拠したシステムへの移行)に向け、国の示す標準仕様書と現行の就学システムや業務処理手順との差異を明らかにし(FIT & GAP分析)、対応策について検討した。
 ・平成30年度に先行的に3校にICT機器を導入し、主体的・対話的で深い学びの実現に向け研究を進め、令和2年度、全校にタブレット端末を導入した。令和3年度から全児童・生徒に対して1人1台のLTE通信が可能なタブレット端末を貸与し、授業や家庭学習などで活用している。また、令和4年度からは情報モラル教材を導入し、SNSによるトラブルなどの未然防止に活用している。一方で、授業における活用頻度の高まりにより、ネットワーク増強の必要性が生じている。
 ・幼稚園へ導入した園務支援システムでは、欠席連絡のシステム化による保護者の利便性向上や教員の負担軽減、また、システムのおたより機能を活用することで日頃の保育の様子を発信することができ、家庭との連携強化につながっている。

② 今後の方向性

・各システムについて、今後も安定的な運用に努めるとともに、個人情報の適正管理を図りながら効率的な事務の執行に努めていく。
 ・就学システムについては、引き続きFIT & GAP分析を進めながら、令和7年度のシステム標準化に向けた準備を遅滞なく進めていく。
 ・学習者用デジタル教科書の本格導入を見据え、学習者用デジタル教科書2科目を全校で活用できるよう国の実証事業を補完する整備を行うなど、ICT機器を活用した校内の学習活動や家庭学習をさらに充実させながら、子どもたちの「確かな学力の定着・向上」や「生きる力の育成」に一層資する教育環境の構築を続けていく。また、情報システム課との連携により、ネットワーク容量の拡大を図っていく。
 ・文部科学省専門家会議による校務DXに係る報告を踏まえ、令和6年度の晴海西小・中学校の開校並びに令和7年度に予定する校務支援システムおよび授業支援システムの更改に向けて、両システムのあり方やネットワークの統合に向けた検討を行い、クラウドを活用した次世代のネットワーク環境を整備していく。
 ・幼稚園においては、直接体験の補完となるようなタブレット端末のさらなる効果的な活用に向けた研究や、各園における事例の共有化を図っていく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> 「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つとなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	各種援助	中事業2	卒業アルバム・文集代等補助	中事業3	学校給食物資(米穀)の給付
保護者負担軽減	中事業4	学校給食食材料費の補助	中事業5	教材費等援助(幼稚園)	中事業6	多様な集団活動等 利用支援事業
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区が米飯給食用の米を購入し、小学校および中学校給食運営委員会へ給付するとともに、学用品費等や卒業記念アルバム・文集作成費用および修学旅行費等さまざまな補助を行いながら、保護者負担の軽減を図る。
 ・小学校就学前の幼児を対象とした多様な集団活動について、その利用料の一部を補助することで、保護者負担の軽減を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

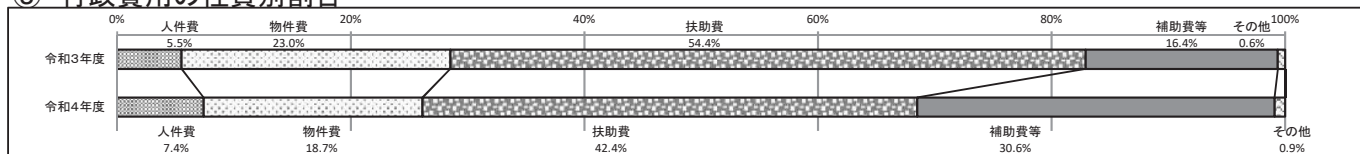
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	10,331,311	16,574,062	6,242,751	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	43,175,557	42,005,732	△1,169,825		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	20,397,500	14,814,980	△5,582,520
	扶助費	102,054,426	94,922,760	△7,131,666		都支支出金	16,562,000	33,997,391	17,435,391
	補助費等	30,855,383	68,533,138	37,677,755		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	79,375,448	78,148,011	△1,227,437
	不納欠損引当金繰入額・資引当金繰入額	25,352	228,140	202,788		小計	116,334,948	126,960,382	10,625,434
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,140,430	1,786,974	646,544		行政収支差額	△71,247,511	△97,090,424	△25,842,913
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	187,582,459	224,050,806	36,468,347	通常収支差額	△71,247,511	△97,090,424	△25,842,913		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△71,247,511	△97,090,424	△25,842,913		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	71,607,914	97,497,194	25,889,280		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	360,403	406,770	46,367		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	扶助費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 各種援助(小学校) 44,625,805円 各種援助(中学校) 40,541,385円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食食材料費に対する区補助金 31,708,192円 中学校修学旅行費補助金 18,560,205円 小学校卒業記念アルバム・文集作成費補助金 11,920,000円 中学校卒業記念アルバム・文集作成費補助金 6,344,741円 学校給食食材料費に対する区補助金皆増 31,708,192円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 給食費の支給対象者減に伴う給食費支給額の減 △3,535,815円 新入学児童生徒学用品費の支給対象者減に伴う支給額の減 △1,192,690円 学用品費の支給対象者減に伴う支給額の減 △1,093,329円 	主な増減理由	

勘定科目	物件費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	給食用米穀の購入 41,375,434円	決算額の主な内訳	日本橋プラザ土地貸付収入 73,322,000円
主な増減理由	給食用米穀の単価減に伴う購入費減 △1,172,401円	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 日本橋プラザ土地貸付収入の減 △696,000円 給食用米穀の単価減に伴う教職員負担分の収入減 △531,437円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

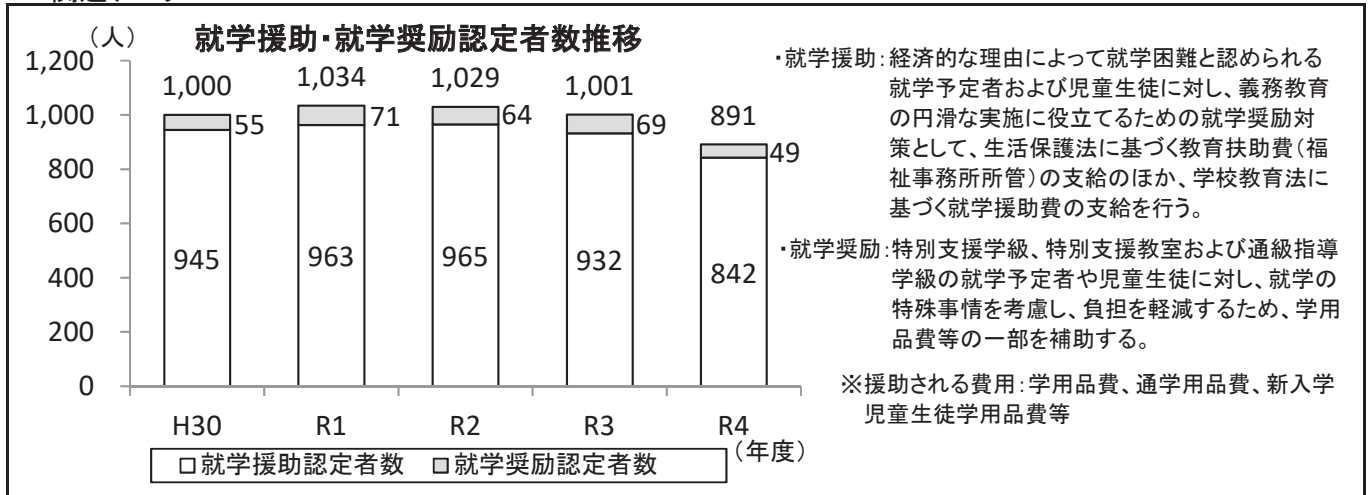
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	1,033,682	1,186,985	153,303	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	△25,352	△228,140	△202,788		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	480,871	790,308	309,437
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	7,245,756	10,570,115	3,324,359
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		7,726,627	11,360,423	3,633,796
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△6,718,297	△10,401,578	△3,683,281
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		1,008,330	958,845	△49,485
資産の部 合計		1,008,330	958,845	△49,485					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	収入未済	勘定科目	
決算額の主な内訳	・新入学児童生徒学用品費等戻入 1,186,985円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・新入学児童生徒学用品費等戻入収入未済の増 153,303円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・保護者負担の軽減を図るため、米飯給食用の米を区が購入するとともに、給食費引上相当額を令和4年4月より全額公費補助し、児童・生徒の成長段階に応じて必要とされる栄養価を適切に摂取できる学校給食を提供している。

・児童および生徒数が増加する中、就学援助・就学奨励認定者数は1,000人前後で推移している。

・多様な集団活動等利用支援事業の要件を満たす施設等を利用する3歳児クラスから小学校就学前の幼児の保護者が支払う利用料を対象にその一部を給付している。

② 今後の方向性

・物価高騰などにより子育て家庭の負担が大きくなっていることから、児童・生徒の健全な成長に必要な栄養価を適切に摂取できる給食の提供について、保護者負担の更なる軽減のため、令和5年度は無償化していく。

・令和4年度の生活保護基準見直しに伴い、変更がある場合は将来的な財政負担や他区の状況などを考慮して検討する。

・多様な集団活動等利用支援事業については、対象となる施設及び保護者に対し丁寧に周知を行い、給付対象となる方から確実に申請を受け、保護者負担の軽減を図っていく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	教員の指導研究	中事業2	教員の研究奨励	中事業3	教員の指導力向上支援
教員の指導力向上事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・教科指導書の購入、各種委員会・協議会での研究・協議、学習力サポートテスト等の実施を通して、本区における教育課題の分析、教育内容・指導方法の充実や授業改善を図る。
 ・区教委および都教委の指定による研究指定校・奨励校、各校園の校内研究、研修会において教科・領域の実践的研究を行い、その成果を発表することにより、学校教育の充実を図る。
 ・教員が、特別な支援や配慮を要する幼児・児童・生徒の教育的ニーズを把握し、適切な支援ができるよう、特別支援教育コーディネーターを中心とした支援・研修体制を構築し、特別支援教育に関わる教員の実践力の向上を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

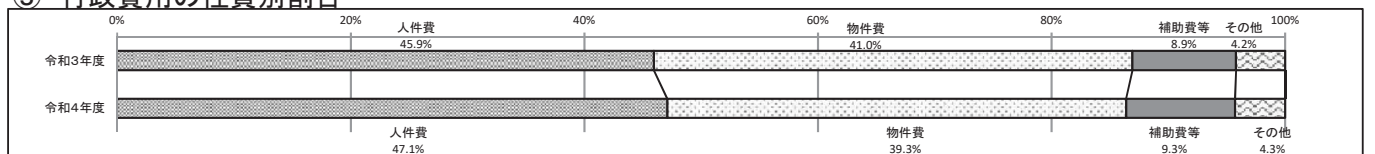
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	34,481,693	36,526,675	2,044,982	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	30,752,794	30,456,015	△296,779		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	194,580	349,537
	補助費等	6,654,300	7,229,284	574,984		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	12,962,000	13,460,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	13,156,580	13,809,537
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,154,505	3,328,101	173,596		行政収支差額	△61,886,712	△63,730,538
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	75,043,292	77,540,075	2,496,783	通常収支差額	△61,886,712	△63,730,538		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△61,886,712	△63,730,538		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	62,031,664	63,972,354		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	144,952	241,816		
							96,864	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・教科書、副読本、指導書の購入等 13,710,290円 ・学習力サポートテスト業務委託 13,398,231円 ・校内研修会等資料印刷・消耗品購入 3,347,494円	決算額の主な内訳	・校内研修会等の講師謝礼等 7,203,284円
主な増減理由	・学習力サポートテスト業務委託の実績増による委託料増 627,880円 ・校内研修会等資料印刷・消耗品購入の実績減 △809,143円 ・教科書、副読本、指導書の購入等の実績減 △115,516円	主な増減理由	・校内研修会等実施実績増による講師謝礼等増 569,184円
勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	都支支出金
決算額の主な内訳	・日本橋ブラザ土地貸付収入 13,460,000円	決算額の主な内訳	・安全教育推進校事業費都委託金 199,737円 ・地域人材・資源活用推進事業費都委託金 149,800円
主な増減理由	・日本橋ブラザ土地貸付収入増 498,000円	主な増減理由	・地域人材・資源活用推進事業費都委託金皆増 149,800円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

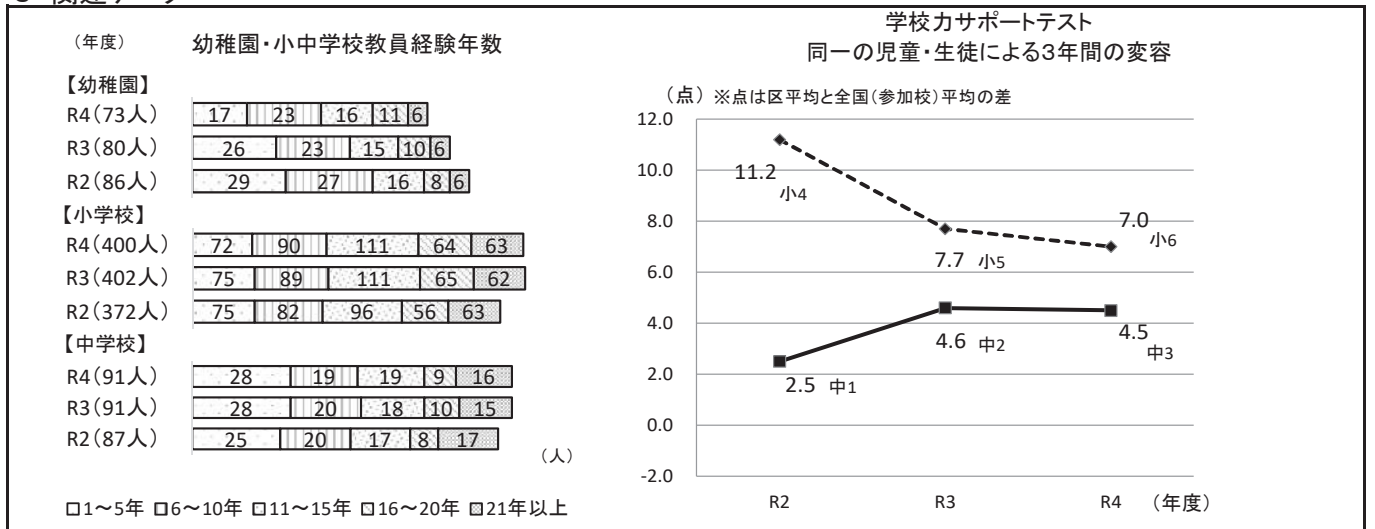
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	2,292,003	2,480,934	188,931
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	0	0	0		退職給与引当金	9,475,220	8,984,598	△490,622
	工作物	0	0	0		その他	0	0	0
	重要物品	0	0	0		負債の部合計	11,767,223	11,465,532	△301,691
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△11,767,223	△11,465,532	301,691	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- 優れた指導力を有する教員をメンター・ティーチャーとして認定(令和4年度:小学校4名、幼稚園2名)し、研修等における指導・助言を36回、巡回指導を111回、合計147回実施して、若手教員の指導力向上を図った。また、研修の内容を充実するために、中央区内の民間企業の方を講師として招聘することや、地区の教員と協議することで実施し、受講した教員の視野を広めることにつながった。
- 各校園では校(園)内研修会において外部講師を招聘しての研究授業・保育等を行うとともに、研究奨励校(園)として幼稚園2園、小学校4校、中学校2校を指定し、研究を進めている。研究の成果については、区内の各校園に発信するなど、教員の指導力向上に寄与する取組を進めた。
- 小学校第4~6学年・中学校第1~3学年において学習カサポートテストを実施し、基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握するとともに、各学校での個に応じた指導の充実を図った。同一集団における全国(参加校)と区の平均点の差の推移を見ると、中学校で上昇し小学校で一定程度上回った状況にあることから、基礎的・基本的な学習内容の定着と、教員の資質・能力向上の取組の成果を見て取ることができる。一方、各校における課題はそれぞれであることを踏まえ、学力向上プランを活用しながら、子ども一人一人の状況や課題を継続的に把握し、課題解決に努めていく必要がある。
- 児童・生徒一人一人にタブレット端末を貸与し、各教科等の授業においてICT機器を効果的に活用し、わかりやすい授業や個に応じた指導の充実を進めた。また、児童・生徒のタブレット端末の持ち帰り等の機会を通して、家庭学習の充実や家庭との一層の連携に努めた。さらに、ICT教育連絡会等において各小中学校のICT機器を活用した授業実践や組織的な取組等を情報共有し、児童・生徒の学力向上につながる教員の授業力の育成に寄与した。
- 特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会の実施や各校園の校内委員会等を通じて、特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への支援を含めた特別支援教育に関わる指導力の向上に寄与した。

② 今後の方向性

- 今後、各校園における校(園)内研修会の充実を図るとともに、指導主事や幼児教育担当専門幹が講師を務めるなど各校園の校(園)内研修会に積極的に参加し、本区の施策についての目的や意義を伝える。
- 学習カサポートテストでは、学習指導要領の内容を踏まえ、児童・生徒の学習状況を把握するとともに、詳細に分析することで教員の授業のさらなる工夫改善に役立てる。また、小学第4学年から中学第3学年までの学力に関わる経年変化、テスト結果に基づく課題を的確に把握するとともに、各校において作成する学力向上プランの実施を通して、学校全体での教員の授業改善を推進する。
- ICT機器を活用した実践的な授業改善を学校全体で計画的に行っていくことにより、教員の指導力向上を図る。また、次期授業支援システムについて検討を進め、さらなる授業支援の充実を図っていく。
- 令和5年度も引き続き、区主催の連絡会や校内委員会を実施し、さらなる教員の特別支援教育に関わる実践力の向上につなげる。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート

部課名 教育委員会事務局指導室

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> 「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つとなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	学習指導等の充実	中事業2	国際教育の推進	中事業3	パイロット校における国際教育・理数教育の推進
確かな学力の向上事業	中事業4	学校・幼稚園2020レガシーの推進	中事業5	ICT機器の活用推進	中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む知・徳・体のバランスのとれた教育の推進により、「生きる力」の育成を図る。
- ・子どもたちの学習意欲を高め、児童・生徒一人一人の「個性と能力を伸ばす」質の高い教育を展開する。
- ・国際的視野を持つ児童、生徒の育成を図る。特に外国語で表現する能力を養い、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする実践的な態度を育成する。
- ・ICT機器を効果的に活用し、子どもたちの知的な好奇心を喚起するわかりやすい授業を展開する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	714,137,118	716,067,162	1,930,044	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	221,780,657	206,036,361	△15,744,296		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	2,110,000	2,410,000
	扶助費	0	0	0		都支支出金	73,725,952	80,909,049
	補助費等	34,536,200	39,784,939	5,248,739		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	538,578,456	538,620,160
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	614,414,408	621,939,209
	賞与・退職給与引当金繰入額	4,295,506	4,843,699	548,193		行政収支差額	△360,335,073	△344,792,952
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	974,749,481	966,732,161	△8,017,320	通常収支差額	△360,335,073	△344,792,952		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△360,335,073	△344,792,952		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	360,930,166	345,499,793		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	595,093	706,841		
							111,748	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	人件費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師等報酬 598,509,228円 ・非常勤講師等期末手当 105,211,415円 ・小学校英語講師(パイロット校)報酬 3,457,200円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人英語指導助手派遣 95,636,574円 ・ICT支援員業務委託 47,025,000円 ・非常勤講師等旅費 33,309,744円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育補佐員実績増に伴う報酬増 12,927,558円 ・学習指導補助員・介助員実績増に伴う報酬増 6,759,964円 ・幼稚園保育補助員実績減に伴う報酬減 △17,704,694円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育に係る保育士派遣皆増 6,092,240円 ・ICT支援員派遣回数縮小による委託料の減 △21,912,000円

勘定科目	補助費等	勘定科目	都支支出金
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導サポーター・部活動外部指導員等謝礼 36,168,939円 ・「学校・幼稚園2020レガシー」講師謝礼 2,425,800円 ・国際理解教室講師謝礼 330,000円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル利活用支援員配置支援事業都補助金 38,198,000円 ・スクール・サポート・スタッフ配置事業費都補助金 34,247,049円 ・スクールソーシャルワーカー活用事業費都補助金 5,006,000円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導サポーター等活動実績増に伴う謝礼増 6,401,939円 ・学校・幼稚園2020レガシーに係る講師活動実績減による報償費減 △1,321,200円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル利活用支援員配置支援事業都補助金皆増 38,198,000円 ・スクール・サポート・スタッフ配置事業費都補助金の増 1,850,634円 ・公立学校情報機器整備支援事業費都補助金皆減 △34,399,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

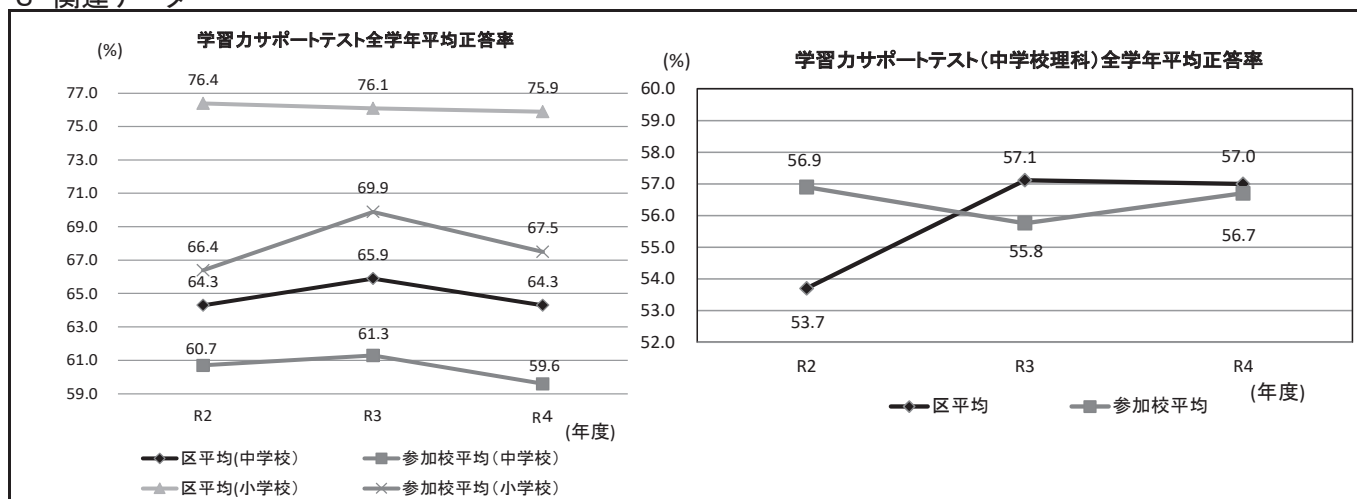
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	2,621,238	2,999,865	378,627
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	18,393,073	19,554,713	1,161,640
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	21,014,311	22,554,578	1,540,267	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△21,014,311	△22,554,578	△1,540,267	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0	
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・学習力サポートテストを小学校第4学年～第6学年、中学校第1学年～第3学年で実施し、ここ3年間は小学校および中学校において概ね全国の参加校平均を上回る結果となった。基礎学力のさらなる定着が必要な児童・生徒に対しては、学習力サポートテストおよびその結果に基づく個人票の活用やタブレット端末等を用いたドリル学習のほか、少人数指導、放課後補習等を実施した。また、中学校理科については、学力の定着に課題があり、継続的に授業改善や個別フォローなどの対策を講じる必要がある。
- ・国際教育では、児童・生徒の使える話せる英語の習得に向けて、外国人英語指導助手を効果的に活用して意図的・計画的に外国語指導を進めることができた。また、国際教育パイロット校(常盤小)の取組を公開授業を通じて各小中学校に発信することにより、教員の指導力向上につながることができた。さらに、理数教育においても、パイロット校(城東小)の公開授業を実施し、問題解決型学習による授業を広めることができた。
- ・オリンピック・パラリンピック教育については、これまで学校・幼稚園が取り組んできた活動のうち、外国の方を招聘した国際理解学習、ボッチャやパラリンピック陸上などの障害者理解の学習など、特色ある活動を「学校・幼稚園2020レガシー」として位置付け、東京2020大会以降も継続することを見通して、教育活動の充実を図った。
- ・ICT教育では、授業においてタブレット端末を活用した協働学習を実施することができ学習の充実につながった。また、個々の定着状況を踏まえて学習できるドリルソフトを導入することにより、家庭学習の充実にもつながることができた。さらに、情報モラル教育を全校で進め、トラブルの未然防止に努めた。

② 今後の方向性

- ・学校のニーズに合った専門的知識や技能を有する非常勤講師等の安定的確保に努める。また、一人一人の学力の定着状況を把握し、授業改善を進めるために、引き続き学習力サポートテストを実施する。さらに、理数教育、英語教育、読解力の育成、環境教育等を推進し、児童・生徒の発達段階、キャリア形成の方向性等にに応じた教育活動を充実する。
- ・国際教育及び理数教育についてはこれまでの取組を継続発展するとともに、国際教育パイロット校(常盤小)および理数教育パイロット校(城東小)の各校において、地域や民間企業等と連携した取組等の年間を通じた授業研究日を公開授業として位置付け、全小中学校・幼稚園教員に対して実践報告をするとともに、具体的な取組内容を共有・協議し、自校園の取組への活用を促進する。
- ・オリンピック・パラリンピック教育に関わる「学校・幼稚園2020レガシー」については、これまで取り組んだ実践を踏まえ、国際理解や障害者理解、体力向上等の特色ある教育活動を実施していく。
- ・ICT教育については、これまでの取組を継続することに加え、デジタルシチズンシップ教育を推進していく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	特別支援教育専門員の配置	中事業2	特別支援学級運営(小学校)	中事業3	特別支援学級運営(中学校)
特別支援教育推進事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・小学校および中学校への適切な就学を推進していくために、就学相談等のコーディネートを担当する特別支援教育専門員を配置する。また、特別支援教室への入室等のコーディネート等についても特別支援教育専門員が対応する。
 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたち一人一人の特性を理解し、個々の能力を伸ばせるよう教員研修の充実を図るとともに、特別支援教育コーディネーターの育成と校内支援体制の充実を図る。また、保育園・幼稚園をはじめ子ども発達支援センター「ゆりのき」等の関係機関と連携し、就学前の幼児期から中学校卒業までの一貫した特別支援教育の推進を図る。
 ・小学校および中学校において、児童・生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえた特別支援学級や通級指導学級、特別支援教室の教育活動を展開していく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

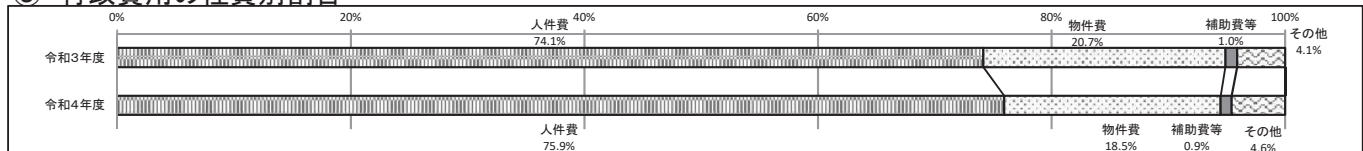
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	74,395,022	80,273,780	5,878,758	行政収入	地方区税	0	0	
	物件費	20,809,821	19,594,609	△1,215,212		特別区財政調整交付金	0	0	
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	
	補助費等	1,006,100	990,400	△15,700		分担金及び負担金	0	0	
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	4,120,624	4,840,371	719,747		行政収支差額	△100,331,567	△105,699,160	△5,367,593
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	100,331,567	105,699,160	5,367,593	通常収支差額	△100,331,567	△105,699,160	△5,367,593		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△100,331,567	△105,699,160	△5,367,593		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	100,806,596	106,483,207	5,676,611		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	475,029	784,047	309,018		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	人件費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・特別支援教育専門員の報酬等 21,596,479円 ・特別支援教室講師の報酬等 10,579,839円	決算額の主な内訳	・区立小学校特別支援学級在籍児童通学用自動車運行委託 10,443,840円 ・小・中学校特別支援学級、特別支援教室等運営費 6,219,760円
主な増減理由	・特別支援教育専門員年度当初欠員による報酬減 △809,063円	主な増減理由	・小・中学校特別支援学級、特別支援教室等運営費実績減による備品購入費減 △835,769円 ・通学用自動車運行委託実績減による委託料減 △598,620円
勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・就学相談に係る医師診断医師謝礼 945,200円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・就学相談に係る医師診察件数減による医師謝礼減 △41,700円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

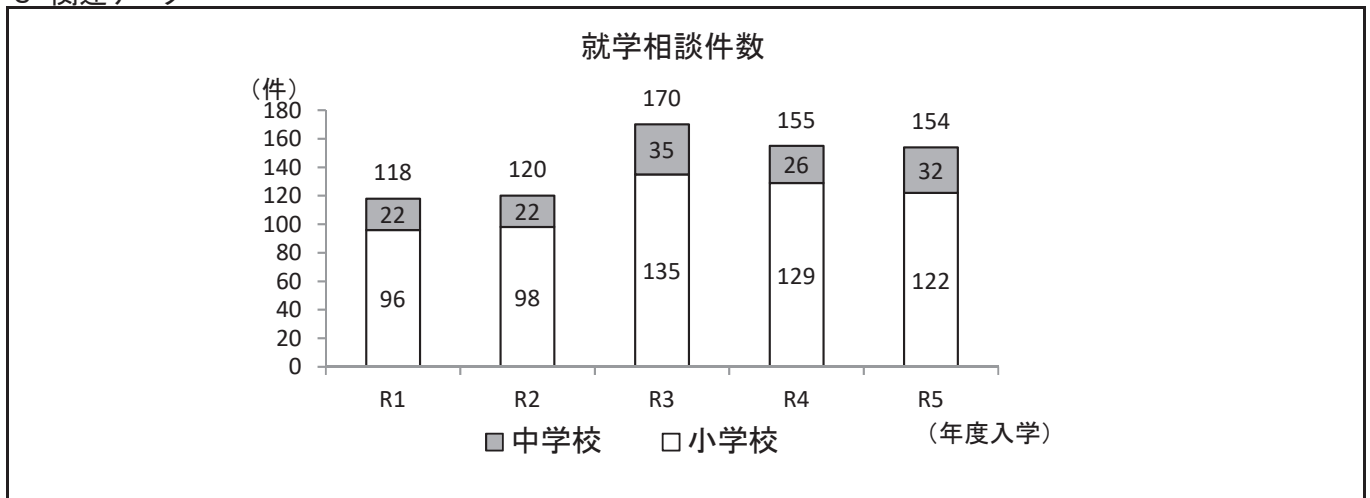
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	2,395,622	2,847,036	451,414
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	18,950,439	21,140,231	2,189,792
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		21,346,061	23,987,267	2,641,206
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△21,346,061	△23,987,267	△2,641,206
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		0	0	0
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・就学相談における対応件数は、令和3年度大幅に増加して以降高い推移をたどっており、当該幼児・児童一人一人の心身の状況や教育的ニーズを把握し、適切な就学へつなげるため、特別支援教育専門員の果たす役割が高まっている。
- ・子ども発達支援センター「ゆりのき」や都立特別支援学校等の関係機関との連携のもと、各学校・幼稚園の特別支援教育コーディネーターが中心となり幼児・児童・生徒一人一人のための特別支援教育を推進している。
- ・特別支援教室拠点校(小学校6校、中学校1校)が巡回指導、明正小学校においては言語障害および難聴の通級指導を実施しており、全小・中学校における特別支援教室および通級指導学級の指導体制の充実を図っている。
- ・医師や臨床心理士等を特別支援教育アドバイザーとして幼稚園、小・中学校に派遣し、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒や特別支援学級の児童・生徒に対する望ましい適切な指導および必要な支援のあり方について、専門的な助言を行っている。

② 今後の方向性

- ・就学相談については、令和5年度も引き続き、幼稚園・保育所、小学校等の関係機関と連携し、当該幼児・児童の状況を適切に把握するとともに、一人一人に合った適切な学習環境につなげていく。
- ・特別支援学級等の運営については、障害特性に応じた「多様な学びの場」が提供できるよう環境整備を進めるとともに、通常の学級においてユニバーサルデザインの考え方に基づいた指導を取り入れ、支援の輪を広げていく。
- ・個別の教育支援計画「中央区育ちのサポートカルテ」を活用し、特別な支援や配慮の必要な幼児・児童・生徒が、自立した生活が継続できるよう適切な支援を行うため、関係機関の連携を深めながら、幼児期から義務教育終了まで切れ目のない一貫した支援を展開する。
- ・令和5年度も引き続き、特別支援教育アドバイザーを幼稚園、小・中学校に派遣し、発達障害のある幼児・児童・生徒がより適切な支援を受けられる体制を強化するため、特別支援教育コーディネーターや教員の指導力の向上に向けた取組を推進していく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> 「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。 特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 児童数が増加する中においても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	教育センター運営	中事業2	教育相談	中事業3	心を育てる教育の推進
教育センター管理事業	中事業4	教育センターの改修	中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・児童・生徒の知的な好奇心や探求心の醸成、科学的思考等を高める事業の内容について、児童・生徒向け実験教室を教育センターにおいて実施することにより、理科教育の充実および振興を図る。
- ・不登校等諸問題への早期対応や児童・生徒の学校復帰に向けた学習支援等を行うため、子どもたち一人一人の生活や学習状況を把握し、学校等との連携を図りながら当該児童・生徒の主体性・社会性を育む取組を行う。
- ・幼児、児童生徒の発達や養育、教育上の問題点について相談を受け、専門的な技法を用いて援助することにより、心理的な安定を図り、新たな視点から自分を見つめ、本来持っている力を出すことで課題を解決できる能力を育成する。
- ・教員としての資質や指導力の向上のため、教育のキャリアやニーズに応じた研修内容の充実を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

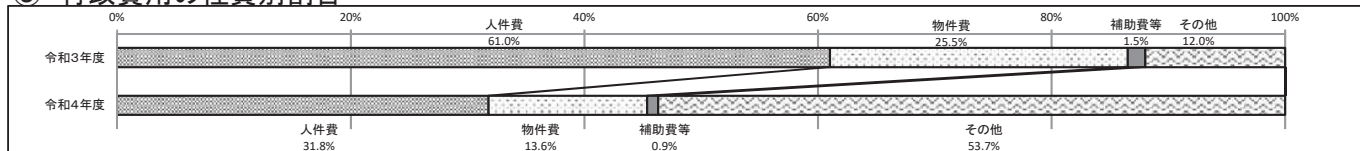
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	120,693,553	131,392,140	10,698,587	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	50,433,757	56,132,742	5,698,985		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	693,128	636,342
	補助費等	2,989,262	3,874,150	884,888		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	6,326,100	203,738,000	197,411,900		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	15,163,300	15,163,300	0		その他	19,776,000	20,666,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	20,469,128	21,302,342
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,190,474	2,961,826	771,352	行政収支差額	△177,327,318	△391,959,816	
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	
小計	197,796,446	413,262,158	215,465,712	通常収支差額	△177,327,318	△391,959,816		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△177,327,318	△391,959,816		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	162,638,761	377,415,575		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△14,688,557	△14,544,241		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	・教育センター改修工事 203,738,000円	決算額の主な内訳	・専任教育相談員等報酬・通勤・期末手当 60,037,491円 ・教育センター講師等報酬・通勤・期末手当 21,680,006円 ・適応教室専門員等報酬・通勤・期末手当 17,343,567円
主な増減理由	・教育センター改修工事による工事費増 197,411,900円	主な増減理由	・学校開設準備支援員報酬・通勤・期末手当皆増 3,281,187円

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・施設維持管理等委託料 23,115,805円 ・光熱水費 20,574,043円 ・センター教室・科学教室等教材等消耗品 969,239円	決算額の主な内訳	・メンタルサポーター派遣謝礼 1,855,000円 ・カウンセリング研究会講師謝礼 335,200円 ・教育センター教室指導員謝礼 331,500円
主な増減理由	・光熱水費実績増 2,795,613円 ・施設維持管理等委託実績増による委託料増 1,864,655円	主な増減理由	・メンタルサポーター派遣実績増による謝礼増 420,000円 ・早稲田大学夏季科学教室講師謝礼皆増 136,800円 ・カウンセリング研究会実績増による講師謝礼増 89,500円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

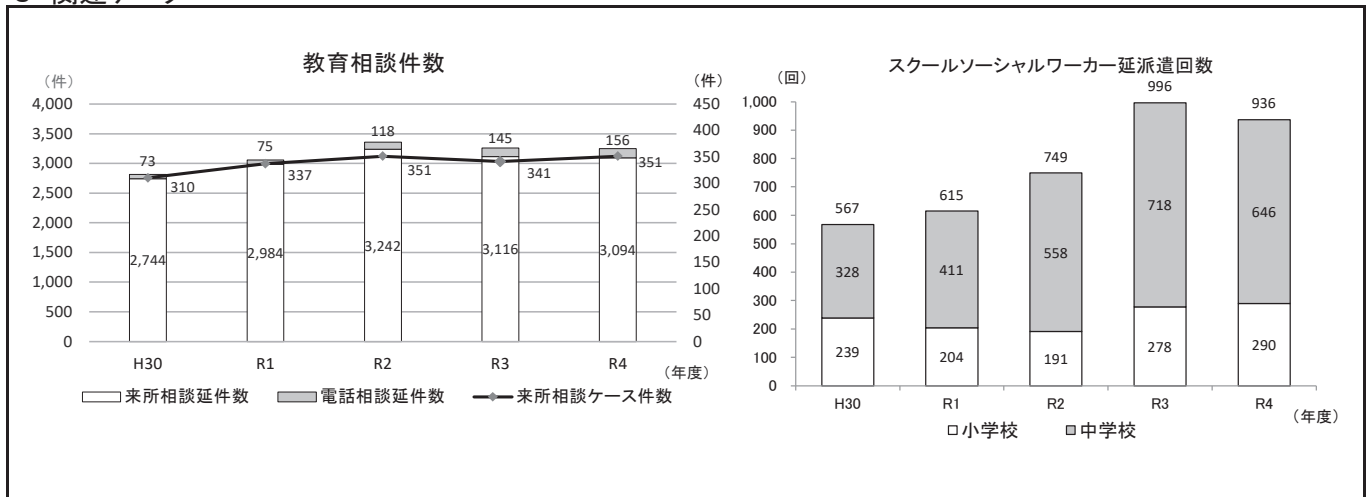
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	1,632,386	1,915,326	282,940
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	166,796,330	151,633,030	△15,163,300		退職給与引当金	6,131,024	11,098,621	4,967,597
	工作物	0	0	0		その他	0	0	0
	重要物品	0	0	0		負債の部合計	7,763,410	13,013,947	5,250,537
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	159,032,920	138,619,083	△20,413,837	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	166,796,330	151,633,030	△15,163,300	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		166,796,330	151,633,030	△15,163,300					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・教育センター 151,633,030円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・減価償却による減 △15,163,300円	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・小学第3・4学年を対象に、実験やプラネタリウムを活用したセンター教室を実施したほか、希望する児童・生徒を対象とした科学教室や特別課外授業等を通して、科学に対する興味・関心の醸成に努めた。
- ・不登校児童・生徒については、小中学校と連携して個人カルテとなる「登校支援シート」を作成し、学校復帰につなげるよう努めた。また、適応教室「わくわく21」においては、さまざまな学びや社会との関わりを実現するため、タブレット等を活用したネットコースを開始した。
- ・教育相談では、教育センターにおける電話および来所による相談に加え、教育センターの専任教育相談員をスクールカウンセラーとして小学校・幼稚園へ派遣するほか、スクールソーシャルワーカーを小・中学校へ派遣するなど、きめ細かな対応を行っている。
- ・教員および講師等の職員の資質ならびに指導力向上を目的として、職層に応じたものや新たな教育課題等に対応するものなど、さまざまな教員研修を実施している。また、センター講師が定期的に学校等を訪問し、若手教員への指導・助言を行うことにより、授業力の向上につなげた。学校問題ほっとラインにおいては、保護者からの相談に丁寧に対応しながら、迅速な解決を図っている。

② 今後の方向性

- ・科学に関する諸教室については、学習指導要領を踏まえた内容の見直し・充実を図るとともに、実験や観察の基礎技術を養うことを目的に実施していく。また、郷土天文館からプラネタリウムの学習投影を引き継ぎ、小学校3・4年生を対象に活用していく。
- ・不登校への対策については、アセスメントや相談体制の充実、「登校支援シート」の活用等による未然防止・早期発見に取り組んでいく。また、不登校児童・生徒に対しては、本人や保護者の意思を十分に尊重した上で、家庭から外に出るための居場所づくりや学習支援・学習機会の充実を図るとともに、さまざまな教育施設との連携等による社会的自立に向けた多様な教育機会の確保を進めていく。
- ・教育相談については、幼児・児童・生徒を取り巻くさまざまな問題が見られることから、引き続き子どもに寄り添う体制の強化を図っていく。
- ・教員研修については、学習指導要領や区の教育課題を踏まえた内容について充実を図っていく。また、学校での学習指導・生活指導・保護者対応において、学校全体を支援する教育センターの体制構築を進めていく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-2	希望に満ち、次代を担う子どもの育成
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で家庭教育を支援するため、家庭・学校・地域と連携しながら、保護者が家庭教育について学ぶ機会を提供するなど、子どもを育む「親力」の向上を図ります。 ・地域が自主的に取り組む活動を支援し、青少年の活動参加の機会を増やし、子どもたちの健全育成に携わる指導者となるよう人材を育成していくことで、青少年の健全育成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	家庭教育への支援	中事業2	中事業3
家庭教育の推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・すべての親が安心して家庭教育を行える環境を、地域社会全体で支えていくことにより、育児不安や負担を軽減するとともに、家庭の教育力の向上を図る。
 ・中央区家庭教育推進協議会が区、学校、PTA、地域の関係機関等と連携して家庭教育学習会を開催するとともに、父親を対象に子育てへの積極的な参加を促す事業を実施する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

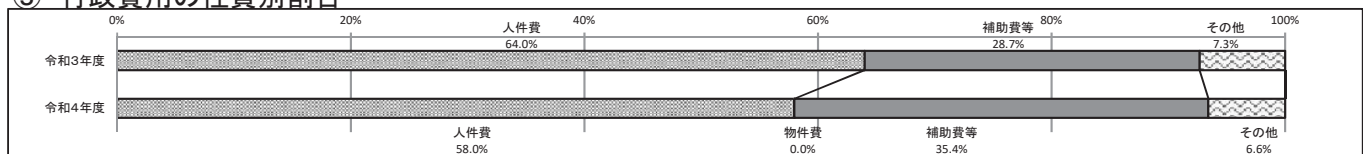
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	6,129,779	6,305,129	175,350	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	0	1,430	1,430		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	1,829,000	2,543,000	714,000
	補助費等	2,744,841	3,854,286	1,109,445		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	1,829,000	2,543,000	714,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	701,804	714,790	12,986		行政収支差額	△7,747,424	△8,332,635	△585,211
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	9,576,424	10,875,635	1,299,211	通常収支差額	△7,747,424	△8,332,635	△585,211		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△7,747,424	△8,332,635	△585,211		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	7,891,273	8,515,137	623,864		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	143,849	182,502	38,653		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	・地域家庭教育推進協議会補助金 3,854,286円	決算額の主な内訳	・東京都家庭教育支援基盤形成事業費都補助金 2,543,000円
主な増減理由	・家庭教育学習会の実施回数増による補助金増 1,109,445円	主な増減理由	・補助金対象事業費が増額となったことによる補助金増 714,000円

勘定科目	勘定科目
決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

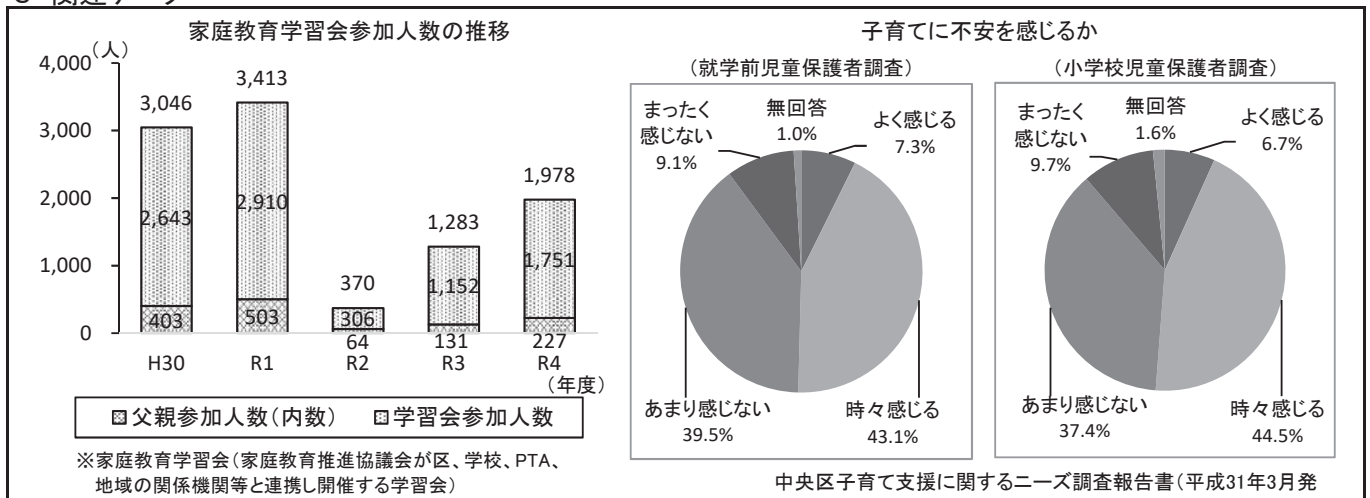
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	295,920	316,123	20,203
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	4,458,927	4,228,046	△230,881
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	4,754,847	4,544,169	△210,678
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△4,754,847	△4,544,169	210,678
建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
その他	0	0	0				
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・家庭教育学習会は、オンラインで開催するなど実施団体の工夫もあり、実施回数は72回となり令和元年度と同程度まで回復した。
- ・父親の参加人数は、増加傾向にあるものの、母親と比較するとまだ少なく、父親の子育て参加を促していくために父親の参加人数を増やす必要がある。
- ・学習会は幼稚園、小・中学校やPTA、地域の子育て支援団体等の協力を得て多くの保護者が参加しているところであるが、参加が難しい家庭や、地域との関係が希薄であり子育てに不安や負担を感じている保護者等に対して、参加を促進していく必要がある。
- ・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、コロナ禍において中止になった学習会もあったものの、感染症対策を講じつつ、また動画配信やオンライン学習会など、工夫しながら事業を実施した。学習会の実施回数・参加者数は一時減少したものの増加傾向にある。

② 今後の方向性

- ・家庭教育学習会については、ポストコロナを踏まえ、制限をしていた定員を増やして実施していくとともに、オンラインや動画配信などの方法での実施も併せて進めていく。
- ・父親が得意分野をいかして気軽に参加できる「おやじの出番！」等子育てに関わる契機となるような家庭教育学習会の提供を引き続き進めていく。
- ・全校児童・生徒・園児への家庭教育学習会のお知らせの配布や、区ホームページ、Twitter、Facebook等のSNSを活用した周知を行っていくとともに、オンラインでの実施も含め、テーマや開催時期等を考慮し、参加が難しい家庭も参加しやすいように学習会を実施していく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-2	希望に満ち、次代を担う子どもの育成
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で家庭教育を支援するため、家庭・学校・地域と連携しながら、保護者が家庭教育について学ぶ機会を提供するなど、子どもを育む「親力」の向上を図ります。 ・地域が自主的に取り組む活動を支援し、青少年の活動参加の機会を増やし、子どもたちの健全育成に携わる指導者となるよう人材を育成していくことで、青少年の健全育成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	青少年の健全育成	中事業2	青少年問題協議会運営等	中事業3	青少年委員会・地区委員会活動
青少年の健全育成事業	中事業4	成人の日記念式典	中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・青少年の指導・育成等に関する総合的な施策の策定と適切な実施により青少年の健全育成を促進する。
 ・地域が自主的に取り組む活動を支援し、青少年の活動参加の機会を増やすことで、青少年の自発的な地域参加を促す。
 ・「成人の日」に、20歳の中央区民を祝い励ますことにより大人としての自覚を持つ契機とする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

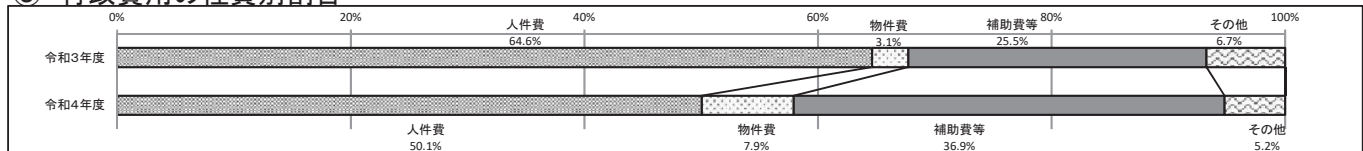
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	45,431,005	46,549,624	1,118,619	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	2,182,821	7,325,637	5,142,816		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	950,000
	補助費等	17,941,789	34,288,540	16,346,751		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	337,800
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	1,287,800
	賞与・退職給与引当金繰入額	4,737,173	4,824,832	87,659		行政収支差額	△70,292,788	△91,700,833
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	70,292,788	92,988,633	22,695,845	通常収支差額	△70,292,788	△91,700,833		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△70,292,788	△91,700,833		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	71,263,769	92,932,720		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	970,981	1,231,887		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年対策地区委員会運営・バス借上げ補助金 11,458,047円 ・子どもフェスティバル運営補助金 11,053,627円 ・二十歳のつどい事業運営補助金 8,303,766円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・羽根つき大会レプリカおよびメダル等消耗品購入 4,007,316円 ・少年リーダー養成研修会柏学園給食業務委託および夜間施設管理業務委託 841,214円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもフェスティバル実施による運営補助金皆増 11,053,627円 ・青少年対策地区委員会活動実績増による運営・バス借上げ補助金増 2,741,980円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・羽根つき大会レプリカおよびメダル等消耗品購入増 2,746,167円 ・少年リーダー養成研修会(宿泊研修)を再開したことによる柏学園給食業務委託および夜間施設管理業務委託費皆増 841,214円
勘定科目	都支出金	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における青少年健全育成応援事業補助金 950,000円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・少年リーダー養成研修会参加費 337,800円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・少年リーダー養成研修会実施に伴う地域における青少年健全育成応援事業補助金皆増 950,000円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・少年リーダー養成研修会実施による参加費皆増 337,800円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

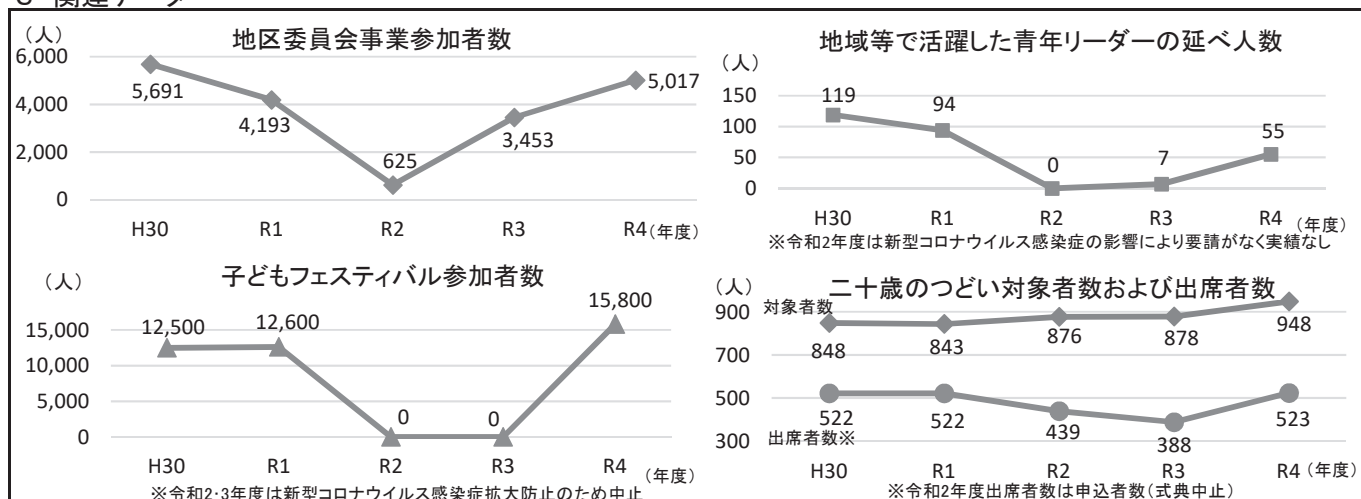
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	1,997,463	2,133,831	136,368
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	30,097,756	28,539,311	△1,558,445
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	32,095,219	30,673,142	△1,422,077
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△32,095,219	△30,673,142	1,422,077
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・青年リーダーの地域活動への派遣については、前年度より回復傾向にあったものの新型コロナウイルス感染症の影響で実績が55人であった。一方で、青年リーダーの入口となる少年リーダー養成研修会への新規参加者(令和4年度46人、令和3年度20人(オンライン開催)、令和2年度中止、令和元年度28人)は例年より増加しており、OBOG会への加入数(令和4年度4人、令和3年度5人、令和2年度7人)も一定数あることから充実した活動が可能であり、概ね順調である。
- ・青少年対策地区委員会が各地域の実情に合わせて行うバスハイク等のイベントに対して助成することにより、青少年の健全育成を図っている。令和4年度後半は新型コロナウイルス感染症の状況が改善し、バスハイクをはじめとした地区委員会事業も例年に近い形で実施された。
- ・青少年問題協議会において、区、児童相談所、警察等の関係機関が連携し、青少年健全育成方針を定めている。
- ・少年リーダー養成研修会は、コロナ禍以前に近い形で実施したが、8月に実施しているため熱中症、台風・ゲリラ豪雨等の懸念があり研修会の運営について引き続き検討が必要である。
- ・子どもフェスティバルは過去最大の参加者数となり、会場内の安全管理など円滑な運営のための対応が求められている。
- ・二十歳のつどいは、実行委員会で開催方法を検討し、手指消毒や検温、食べ物の提供をしないなどの感染症対策を行った上で開催した。
- ・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、区主催や地域で開催されたイベントに多くの青少年が参加し、健全育成を促進することができた。

② 今後の方向性

- ・青年リーダー事業については、地域からの依頼に対し、安定的に派遣できるよう、活動できる青年リーダーの確保に努めるとともに、区や地域の行事において一部の事業を企画・立案させ、運営を任せるなど自主性や自立性を身につけた青年リーダーの育成を進める。
- ・各地区委員会の実情は異なっており、公平性を保ちながらもそれぞれの実態に合ったきめ細かな支援や活動についての提案を行っていく。
- ・少年リーダー養成研修会は、青少年委員と連携してプログラムの検討を十分に行い、研修生やスタッフの健康面に配慮するとともに、内容の充実を図っていく。
- ・子どもフェスティバルは、子どもたちはもとより保護者も安心して参加できるよう、スペースを広く確保するなど適切な運営方法を検討し、青少年の健全育成を促進する事業として継続して実施していく。
- ・二十歳のつどいの開催方法は、ポストコロナを踏まえて実行委員会で検討していく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-3	生涯にわたり学ぶ喜びを分かち合える学習活動の推進
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる区民の学びや活躍の機会を拡充し、自己実現と生きがいづくりを支援します。また、学習活動・ボランティア活動を通じて、人々の出会いと学び合いを促進する生涯学習活動の担い手を育成します。 図書館において、区民一人一人の知的好奇心を満たし、多様な学びが広がる場をつくっていきます。また、子どもたちの読書活動を推進し、本を読むことを通じて知識、教養、豊かな感性、思いやりの心を育てていきます。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	社会教育会館の管理運営	中事業2	中事業3
社会教育会館管理事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・区民に社会教育の機会と場所を提供し、社会教育の振興を図ることを目的として設置している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

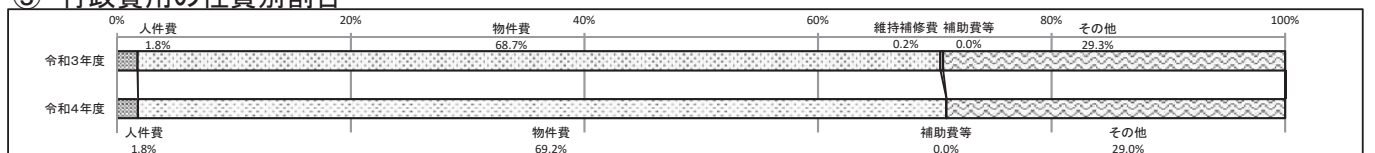
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	9,194,667	9,457,695	263,028	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	360,701,625	366,919,272	6,217,647		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	1,254,000	0	△1,254,000		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	22,860	1,260	△21,600		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	48,310,550	70,646,600	22,336,050
	減価償却費	152,591,951	152,591,949	△2		その他	155,620	226,510	70,890
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	48,466,170	70,873,110	22,406,940
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,052,705	1,072,185	19,480		行政収支差額	△476,351,638	△459,169,251	17,182,387
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	524,817,808	530,042,361	5,224,553	通常収支差額	△476,351,638	△459,169,251	17,182,387		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△476,351,638	△459,169,251	17,182,387		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	323,975,461	306,851,054	△17,124,407		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△152,376,177	△152,318,197	57,980		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 253,980,142円 光熱水費 46,606,089円 社会教育会館維持管理等委託 22,945,892円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育会館使用料還付金 1,260円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 利用件数増による光熱水費増 13,791,524円 築地社会教育会館蓄電池バッテリー交換委託費皆減 △2,684,000円 築地社会教育会館特定建築物等防火設備・建築設備定期点検中外壁調査分の減 △2,274,800円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 対象団体が減少したことによる使用料還付金減 △21,600円
勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 実績なし 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育会館使用料 70,646,600円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 築地社会教育会館等複合施設タイル剥落防止工事費皆減 △1,254,000円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育会館使用料実績増 22,336,050円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

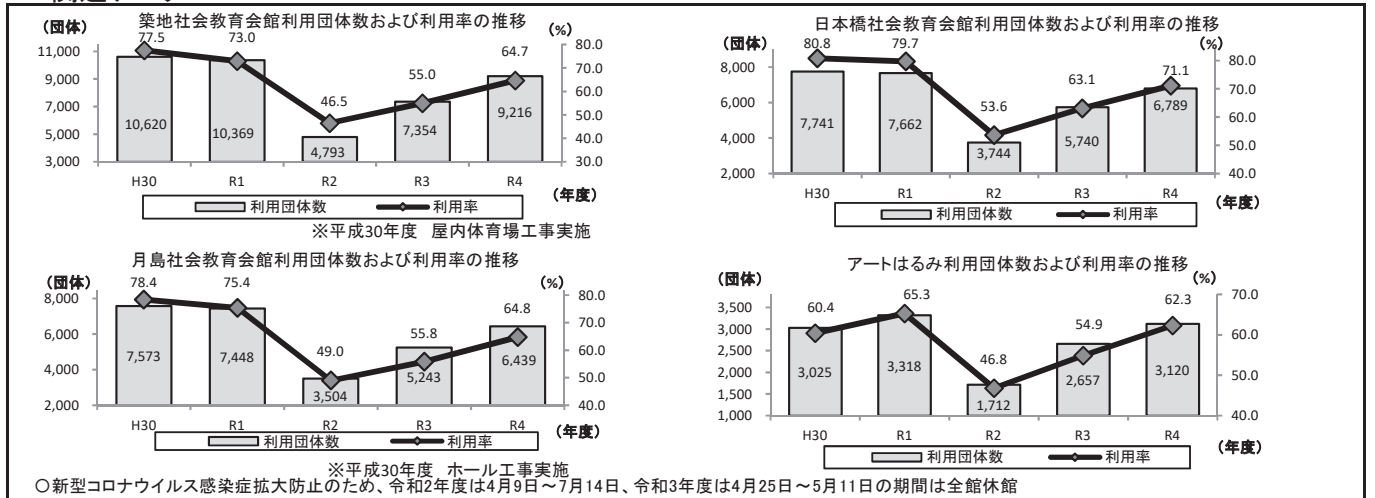
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	443,881	474,185	30,304
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	877,980,000	877,980,000	0	特別区債	0	0	0
建物	1,952,098,563	1,800,102,772	△151,995,791	退職給与引当金	6,688,390	6,342,069	△346,321
工作物	1	1	0	その他	0	0	0
重要物品	596,167	9	△596,158	負債の部合計	7,132,271	6,816,254	△316,017
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	2,823,542,460	2,671,266,528	△152,275,932
建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	2,830,674,731	2,678,082,782	△152,591,949
その他	0	0	0				
資産の部 合計	2,830,674,731	2,678,082,782	△152,591,949				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・築地社会教育会館他3館 1,800,102,772円	決算額の主な内訳	・築地社会教育会館土地 877,980,000円
主な増減理由	・築地社会教育会館他3館の減価償却による減 △151,995,791円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	重要物品	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	・アートはるみ焼がま等8台 9円	決算額の主な内訳	・月島社会教育会館舞台照明設備(H17年設置) 1円
主な増減理由	・アートはるみ焼がまの減価償却による減 △596,158円	主な増減理由	・増減なし

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、令和3年度より利用団体数、利用率とも増加した。4館全体の利用率は66.1%(令和3年度:57.3%)であった。

・利用者懇談会等で意見や要望の把握に努めているが、利用者の増加に伴い、「老朽化した設備・備品を交換してほしい」「サークル活動の発表の場やホームページでの周知を増やしてほしい」「集会室のインターネット抽選について、システムを改善してほしい」「Wi-Fiを使えるようにしてほしい」等、利用者の館に対する要望も多様化している。令和4年度で、4か年に渡って計画した築地および月島社会教育会館の机とイスの入れ替えが完了し、また令和4年8月から築地・日本橋・月島社会教育会館においてWi-Fiルーターの貸出しを開始した。

・基本計画2018の対象となる5年間のうち、コロナ禍において休館や利用制限をした時期があり、利用団体数、利用率が激減した。その後は適切な感染症対策を講じつつ施設を運営し、利用団体数、利用率は徐々に増加してきている。

② 今後の方向性

・利用者に各部屋の曜日や時間帯ごとの利用率の情報を提供したり、自主事業を閑散期に行うなど、効率的に施設を運用することで利用率の向上を図っていく。

・現在行っている月に一回の定例会議のほか、課題を解決していくための担当者会議を定期的で開催するなど、専門知識を持つ指定管理者と連携を密にし、利用者のニーズにきめ細かく対応していく。なお、令和5年4月からアートはるみでもWi-Fiルーターの貸出しを開始する。

・今後、施設予約システムの改善やキャッシュレス決済の導入など、利用者の利便性が高まるようシステム改修などを検討していく。

・施設(設備)に関しては、区と指定管理者で情報を共有し、利用者の利便性に配慮しながらコスト意識を持ち、計画的に改修工事等を行っていく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-3	生涯にわたり学ぶ喜びを分かち合える学習活動の推進
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる区民の学びや活躍の機会を拡充し、自己実現と生きがいづくりを支援します。また、学習活動・ボランティア活動を通じて、人々の出会いと学び合いを促進する生涯学習活動の担い手を育成します。 図書館において、区民一人一人の知的好奇心を満たし、多様な学びが広がる場をつくっていきます。また、子どもたちの読書活動を推進し、本を読むことを通じて知識、教養、豊かな感性、思いやりの心を育てていきます。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	中央区民カレッジ	中事業2	かえで学級	中事業3	社会教育活動への支援
生涯学習の推進事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・中央区民カレッジ(以下、「区民カレッジ」という。)のさまざまな講座を通して、区民の生涯を通じた学習活動を推進し、その成果をいかすことを目的とする。
 ・かえで学級は知的障害者の学校卒業後の生涯学習の場とし、社会の中で自立して生きていく力を身につけることを目的として実施している。
 ・社会教育関係登録団体を育成するとともに、学んだことを地域にいかすことができる学習活動等の促進を図ることにより、本区における社会教育の振興および生涯学習を推進することを目的とする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

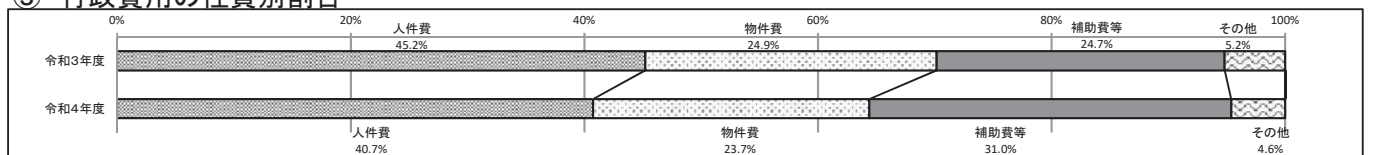
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	25,285,336	26,008,657	723,321	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	13,949,601	15,097,504	1,147,903		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	1,803,000	1,821,000	18,000
	補助費等	13,793,500	19,774,200	5,980,700		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	2,118,300	2,575,800	457,500
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	3,921,300	4,396,800	475,500
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,894,940	2,948,509	53,569		行政収支差額	△52,002,077	△59,432,070	△7,429,993
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	55,923,377	63,828,870	7,905,493	通常収支差額	△52,002,077	△59,432,070	△7,429,993		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△52,002,077	△59,432,070	△7,429,993		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	52,585,154	60,184,890	7,599,736		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	583,077	752,820	169,743		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 区民カレッジ講師等謝礼 13,246,000円 かえで学級講師等謝礼 5,202,200円 登録団体講師派遣謝礼 1,326,000円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 区民カレッジ講座および管理システム保守委託 5,937,250円 区民文化祭委託料 2,772,206円 区民カレッジ実施による消耗品購入等 1,906,486円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 区民カレッジ講座回数増による講師謝礼増 2,175,000円 かえで学級回数増による講師謝礼増 3,822,700円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> かえで学級四区レクリエーション実施による委託料皆増 770,000円 かえで学級宿泊事業実施による使用料及び賃借料増 561,539円
勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 区民カレッジ受講料 2,575,800円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 区民カレッジ(シニアコース)実施に対する都補助金 1,821,000円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 区民カレッジ講座回数増による受講料増 457,500円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 区民カレッジ(シニアコース)実施回数増による都補助金増 18,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

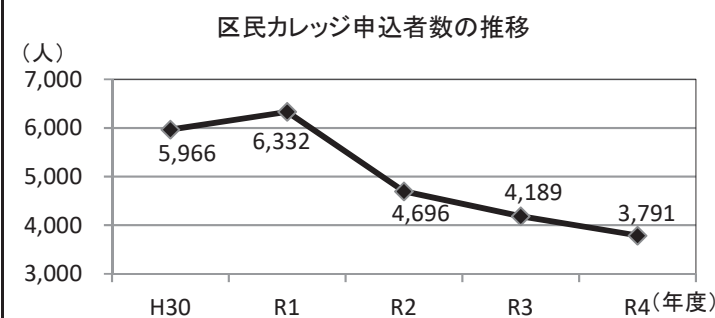
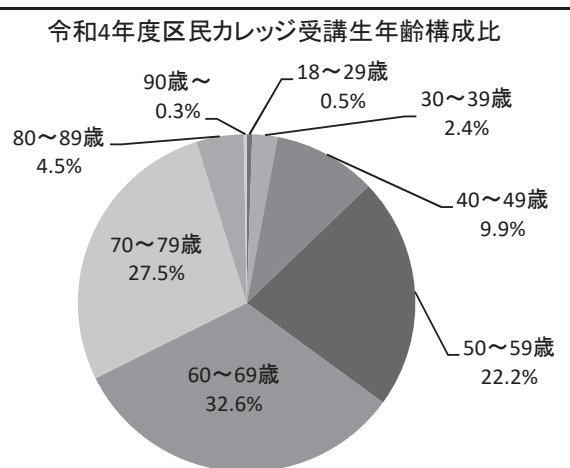
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	25,800	25,800	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	1,220,672	1,304,008	83,336
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	18,393,073	17,440,690	△952,383
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	19,639,545	18,770,498	△869,047
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△19,639,545	△18,770,498	869,047
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由

3 関連データ

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
かえで学級登録者数(人)	39	37	39
社会教育関係登録団体数(団体)	744	588	629
区民文化祭参加者数(人)	106	1,311	2,220



4 総括

① 現状・成果・課題

- 令和元年度までは、区民カレッジ申込者数は年々増加しており、本事業の運営は順調であったが、令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、コース生の人数を制限したこともあり、区民カレッジ申込者数は減少した。
- 区民カレッジシニアコース以外の講座も受講生の高齢化・固定化が進んでいる。
- 区民文化祭は、12大会のうち10大会を実施した。2大会(俳句・謡曲)は、各連盟の高齢化・会員数減により活動休止中である。
- かえで学級は、宿泊研修会や四区合同レクリエーションを含め全19回を予定どおり実施した。実施の際には高齢や基礎疾患のある学級生もいるため、十分な感染症対策を講じた。
- 社会教育関係登録団体については3年ごとに一斉更新し、登録内容の適正化を図っており、令和3年5月1日に一斉更新を行った。
- 作品展やサークル発表会等、社会教育関係登録団体の学習活動の成果を発表する場があり好評を得ているが、「団体同士が交流できる場がほしい」という声を受け、令和元年度よりサークル交流・発表会を実施している。令和4年度は「合唱・コーラスサークル交流・発表会」を実施した。
- 基本計画2018の対象となる5年間を通じて、コロナ禍により各事業の実績は一時的に減少したものの、適切な感染症対策を講じて事業を実施し、区民の生涯学習の場を確保した。

② 今後の方向性

- 区民カレッジについては、ポストコロナを踏まえ、制限をしていた定員を増やして実施していくとともに、オンラインでの実施も併せて進めていく。
- 区内全域で区民カレッジ講座を行い幅広い時間帯を設定することで、さまざまなニーズを持つ区民等が生涯学習の魅力に触れ、楽しさを知る機会を提供する。また、今後もTwitterやFacebook等のSNSの投稿内容を工夫し、転入者や若い世代等新しい受講層の開拓に努めていく。
- 区民文化祭は、各連盟と連携を深めながら、引き続き開催していくとともに周知に工夫を図り、参加者数を増やしていく。また、現在休止中の俳句連盟・謡曲連盟については、活動が再開できるよう支援を行っていく。
- かえで学級の活動内容を専任講師や科目講師と一層連携し、学級生の年代や一人一人の状況に合ったよりよい学習の場となるよう取り組んでいく。
- 社会教育関係登録団体同士の交流を図り、さらに団体活動を活発化させるため、交流会の内容を毎年度変え、さまざまな活動分野の団体が参加できるように実施していく。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-3	生涯にわたり学ぶ喜びを分かち合える学習活動の推進
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる区民の学びや活躍の機会を拡充し、自己実現と生きがいづくりを支援します。また、学習活動・ボランティア活動を通じて、人々の出会いと学び合いを促進する生涯学習活動の担い手を育成します。 図書館において、区民一人一人の知的好奇心を満たし、多様な学びが広がる場をつくっていきます。また、子どもたちの読書活動を推進し、本を読むことを通じて知識、教養、豊かな感性、思いやりの心を育てていきます。
関連する個別計画	第四次中央区子ども読書活動推進計画

大事業	中事業1	図書館の管理運営	中事業2	本の森ちゅうおうの整備	中事業3	晴海図書館の整備
図書館管理事業	中事業4	子どもの読書活動推進	中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区立図書館各館ごとの地域特性を踏まえた図書等の資料を整備するとともに、新たな知的興味の誘因となる、話題性の高い内容をテーマとした企画展やイベントなどを実施し、さまざまな世代にとって使いやすく快適な読書空間の提供や利用者の視点に立ったサービスを充実させることにより、居心地がよく、地域に開かれた魅力ある図書館づくりを推進する。
 ・あらゆる世代の多様な学びのニーズに応える拠点づくりとして、人口動向を踏まえた新たな図書館整備を推進していく。
 ・図書館、学校、家庭及び地域の連携等により、読書離れの進む子どもたちが本に親しみ、読書が習慣となるように、また、読書を通して、知識や教養、豊かな感性、思いやりの心などを育てよう、子どもの読書活動を推進する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

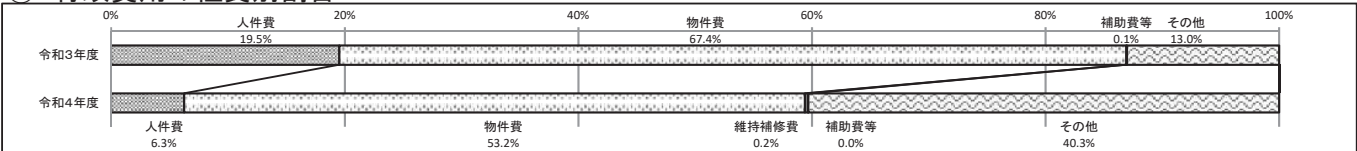
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	144,013,549	101,308,072	△42,705,477	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	496,450,252	861,005,116	364,554,864		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	3,966,600	3,966,600		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0
	補助費等	413,500	412,420	△1,080		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	24,139,739	583,552,402	559,412,663		使用料及び手数料	0	2,064,020
	減価償却費	61,030,534	61,030,534	0		その他	2,701,687	98,848,101
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	2,701,687	100,912,121
	賞与・退職給与引当金繰入額	10,790,227	8,488,131	△2,302,096		行政収支差額	△734,136,114	△1,518,851,154
	その他	0	0	0		金融収支差額	△7,375,883	△9,073,053
小計	736,837,801	1,619,763,275	882,925,474	通常収支差額	△741,511,997	△1,527,924,207		
特別費用	0	74,114,727	74,114,727	当期収支差額	△741,511,997	△1,504,028,507		
特別収入	0	98,010,427	98,010,427	一般財源充当調整	682,693,143	1,469,059,380		
特別収支差額	0	23,895,700	23,895,700	再計(一般財源調整後)	△58,818,854	△34,969,127		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 図書館指定管理料 646,710,303円 図書館システム機器借入等および保守監視委託 86,993,830円 図書館システムおよび学校図書館システムの機器設置・設定等の委託 25,892,900円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 本の森ちゅうおう郷土資料館展示制作物等制作委託 296,778,100円 京橋図書館(新館)閲覧椅子ほかの購入 77,877,800円 本の森ちゅうおうICT整備計画に係るシステム構築業務委託 67,042,800円 京橋図書館(新館)書架ほかの購入 52,862,700円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 図書館指定管理拡大による委託料増 429,014,933円 図書館業務委託廃止に伴う委託料皆減 △65,709,600円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 本の森ちゅうおう郷土資料館展示制作物等制作による委託料皆増 296,778,100円 京橋図書館(新館)閲覧椅子ほかの購入による需用費皆増 77,877,800円 本の森ちゅうおうICT整備計画に係るシステム構築業務委託による委託料皆増 67,042,800円 京橋図書館(新館)書架ほかの購入による需用費皆増 52,862,700円

勘定科目	人件費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動推進専門員等(会計年度任用職員)報酬・期末手当 25,639,503円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 京橋図書館等複合施設内ガスガバナ借家権利金 92,358,260円 京橋図書館等複合施設内ガスガバナ貸付料 4,930,058円 沿革図集等販売収入 853,130円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動推進専門員等(会計年度任用職員)の人数減による報酬・期末手当減 △20,491,770円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 京橋図書館等複合施設内ガスガバナ借家権利金発生による収入皆増 92,358,260円 京橋図書館等複合施設内ガスガバナ貸付に伴う貸付料の収入皆増 4,930,058円 図書資料等のコピー代金の実績減による収入皆減 △1,048,080円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

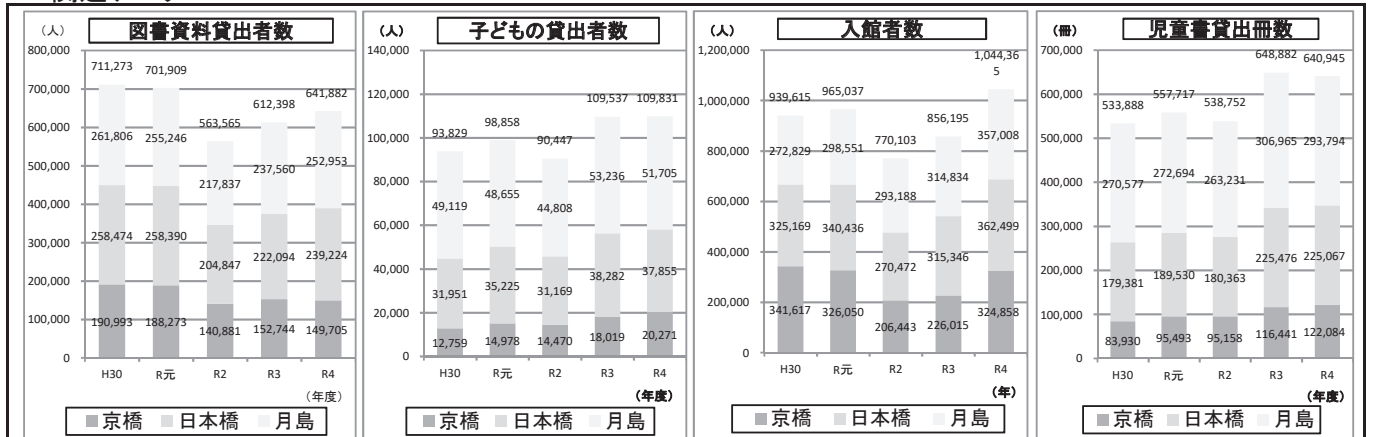
(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	6,500	6,500	流動負債	還付未済金	0	8,000	8,000
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	4,549,776	3,753,962	△795,814
固定資産	土地	2,784,614,725	2,710,500,000	△74,114,725	固定負債	その他	0	0	0
	建物	832,583,101	5,636,779,383	4,804,196,282		特別区債	2,281,000,000	5,017,000,000	2,736,000,000
	工作物	0	45,077,026	45,077,026		退職給与引当金	68,556,000	50,208,048	△18,347,952
	重要物品	4,075,016	94,749,114	90,674,098	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	2,354,105,776	5,070,970,010	2,716,864,234	
	建設仮勘定	2,838,866,000	673,869,000	△2,164,997,000	正味財産の部合計	4,106,033,066	4,090,011,013	△16,022,053	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	6,460,138,842	9,160,981,023	2,700,842,181	
資産の部 合計		6,460,138,842	9,160,981,023	2,700,842,181					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・京橋図書館 4,865,226,817円 ・日本橋図書館 658,796,589円 ・月島図書館 99,850,685円	決算額の主な内訳	・京橋図書館等敷地 2,710,500,000円
主な増減理由	・京橋図書館建設に伴う増 4,865,226,817円 ・京橋図書館等減価償却による減 △61,030,534円	主な増減理由	・H29年度財務会計システム変更時の登録誤りに伴う取得価格更正による減 △74,114,725円
勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	重要物品
決算額の主な内訳	・中央区晴海特別出張所(仮称)等複合施設建設工事 673,869,000円	決算額の主な内訳	・カウンター、書架等 94,749,114円
主な増減理由	中央区晴海特別出張所(仮称)等複合施設建設工事業務委託の増 390,369,000円 ・本の森ちゅうおう建設工事に係る過年度修正による増 98,010,427円 ・本の森ちゅうおう建設工事了りによる減 △2,653,376,427円	主な増減理由	・京橋図書館移転に伴う初度調弁実績増による増 92,174,100円

3 関連データ



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区立図書館では、令和2年度は4月8日～5月26日、令和3年度は4月25日～5月11日の期間は全館休館した。また、京橋図書館は、施設移転のため令和4年9月1日～12月3日の期間は休館した。

4 総括

① 現状・成果・課題

・親と子のふれあいブックスタートなど子どもの読書活動推進の取組の結果、子どもの貸出者数、児童書貸出冊数が近年増加傾向にある。一方で、インターネットやスマートフォン等の情報メディアの普及により、子どもたちを取り巻く生活環境が急速に変化する中、多様な場面でさまざまな本と出会う環境の整備が求められている。中でも、読書に親しむ機会の一つである「読み聞かせ」については、その充実に向けて、ボランティアの養成や活動場所の拡大等を図っていく必要がある。

・令和4年12月に地域の生涯学習拠点として「本の森ちゅうおう」を開館し、京橋図書館と郷土資料館が一体となった施設として連携イベントなどを実施した他、区立図書館の新たなサービスとして令和4年9月には電子書籍の貸出サービスを開始するなど、図書館の利用拡大の取組を行った。

・「本の森ちゅうおう」および既存の図書館、そして整備を進めている令和6年7月開設予定の晴海図書館のそれぞれが幅広い世代の知的好奇心を満たす魅力ある空間となるよう、図書館サービスのさらなる向上に向け、図書資料の充実や積極的な情報発信、館内の居心地良い環境づくりを推進していく必要がある。

② 今後の方向性

・図書館と家庭、地域、学校等の連携・協力のもと、令和4年度に策定した「第四次中央区子ども読書活動推進計画」に基づいた取組を推進するとともに、読書のきっかけづくりや本に親しみ興味を持つ環境を整備していく。子どもたちへの読み聞かせについては、ボランティアの人員を確保するとともに、技術の向上を図るための養成講座の実施、読み聞かせの日数や開催場所の拡大等により、子どもたちが本に触れる機会の一層の充実を図る。

・晴海図書館においては、だれもが利用しやすく居心地の良い図書館となるよう整備を計画的に進めるとともに、「本の森ちゅうおう」については、図書館機能、郷土資料館機能、生涯学習機能が集約するメリットを生かしたサービスの提供を、他の既存の図書館においても、各館が立地する地域の特性を踏まえた蔵書構成やレファレンス機能の充実を図るなど、各図書館が地域の特色を踏まえた魅力ある図書館づくりを進めるとともに、電子書籍貸出サービスでのコンテンツの充実など、新たな取組を広げる。また、区立図書館全館に指定管理者制度を導入しており、京橋図書館と郷土資料館の複合施設である「本の森ちゅうおう」を中心とした図書館ネットワークの構築によるさらなるサービス向上を図る。

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-4	スポーツの楽しさが広がる環境づくり
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、世代や生活スタイル、技術、興味、目的に応じて、日常的にスポーツ活動を楽しみ、親しむことができる生涯スポーツを推進します。 誰もが気軽に楽しくスポーツに取り組めるよう、ハード・ソフトの両面から、区民が身近なところでスポーツ活動ができる場を構築していきます。また、区民がスポーツに関連する必要な情報を手軽にかつ効率的に入手できる環境づくりを進めます。 各種スポーツ団体の活動支援や指導者の確保・育成を図りながら、地域スポーツを推進します。
関連する個別計画	中央区スポーツ推進ビジョン

大事業	中事業1	スポーツ振興	中事業2	区民スポーツの日	中事業3	学校施設等開放
スポーツ振興事業	中事業4	スポーツ推進委員活動	中事業5	スポーツ推進審議会の運営	中事業6	「中央区体育協会」助成
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- 区内在住・在勤の青少年および成人を対象に障害の有無に関わらず、スポーツを通じて心身の健全な発達や明るく豊かな生活を送るため、各種スポーツ教室・大会を行う。
- 区民一人一人のスポーツレクリエーション活動に対する参加意欲の高揚を促し、また、日常の活動成果の発表および誰もが気軽に参加できる場を提供することにより、区民相互のコミュニケーションを促し、併せて広く生涯スポーツを根づかせていく。
- 区民の健康増進と体力の向上を図り、地域スポーツ振興に寄与するため、学校体育施設および学校温水プールを学校教育に支障のない範囲でスポーツ活動の場として提供している。
- スポーツ推進委員活動は、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整ならびに区民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導および助言を行う。
- スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法および中央区スポーツ推進審議会条例に基づき、スポーツに関する事項について調査審議する。
- スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図るために、中央区体育協会の活動を支援するとともに助成を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

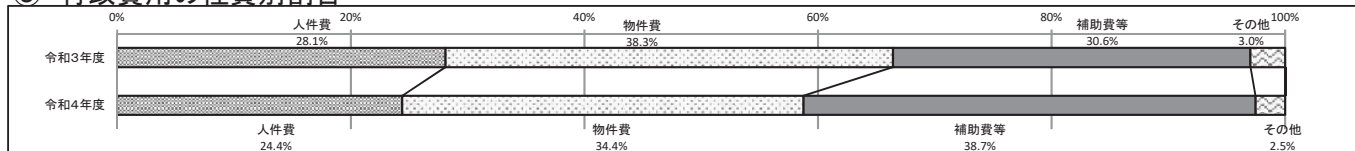
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	63,286,239	65,457,056	2,170,817	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	86,210,008	92,229,157	6,019,149		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	118,284	218,421	100,137
	扶助費	0	0	0		都支支出金	369,142	495,209	126,067
	補助費等	68,888,402	103,787,331	34,898,929		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	9,351,740	17,176,040	7,824,300
	減価償却費	0	0	0		その他	77,000	375,500	298,500
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	9,916,166	18,265,170	8,349,004
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,667,133	6,790,505	123,372		行政収支差額	△215,135,616	△249,998,879	△34,863,263
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	225,051,782	268,264,049	43,212,267	通常収支差額	△215,135,616	△249,998,879	△34,863,263		
特別費用	0	1	1	当期収支差額	△215,135,616	△249,998,880	△34,863,264		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	216,502,182	251,732,645	35,230,463		
特別収支差額	0	△1	△1	再計(一般財源調整後)	1,366,566	1,733,765	367,199		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 「中央区体育協会」補助金 39,585,109円 「区民スポーツの日」実行委員会補助金 34,399,979円 区民体育大会の事業運営に係る運営費負担金 10,438,771円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 学校温水プール開放の管理運営等業務委託 77,898,975円 学校体育施設スポーツ開放受付等業務委託 2,852,715円 学校温水プール自動券売機の借入れ 1,880,736円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 「中央区体育協会」補助金増 11,271,860円 スポーツ教室指導者謝礼増 6,366,000円 スポーツひろば指導者謝礼皆増 5,777,000円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 学校温水プール開放の管理運営等業務委託料増 1,506,615円 学校体育施設スポーツ開放受付等業務委託料増 1,253,499円 中央小学校夜間照明設備点検業務委託料皆増 968,000円 中央小学校温水プール自動券売機借入れ料増 840,840円
勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	都支支出金
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設等使用料 17,176,040円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ実施促進事業費補助金 386,000円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 利用実績増による学校温水プール使用料増 4,412,390円 利用実績増による学校校庭(団体開放)使用料増 1,728,850円 利用実績増による学校体育館(団体開放)使用料増 1,525,210円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 補助金対象事業追加に伴う増 76,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	2,811,244	3,003,170	191,926
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	0	0	0		退職給与引当金	42,359,805	40,166,438	△2,193,367
	工作物	0	0	0		その他	0	0	0
	重要物品	2	1	△1		負債の部合計	45,171,049	43,169,608	△2,001,441
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△45,171,047	△43,169,607	2,001,440	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	2	1	△1	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		2	1	△1					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	重要物品	勘定科目	
決算額の主な内訳	・日本橋小学校貴重品ロッカー 1円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・月島第三小学校自動券売機廃棄による減 △1円	主な増減理由	—

3 関連データ

「区民スポーツの日」ボランティア体験参加人数

	令和元年度	令和2年度(※2)	令和3年度(※2)	令和4年度(※3)
参加者	57人(※1)	—	—	40人
募集対象	区立4中学校生徒 都立晴海総合高校 2・3年生	—	—	区立4中学校生徒 都立晴海総合高校 2・3年生

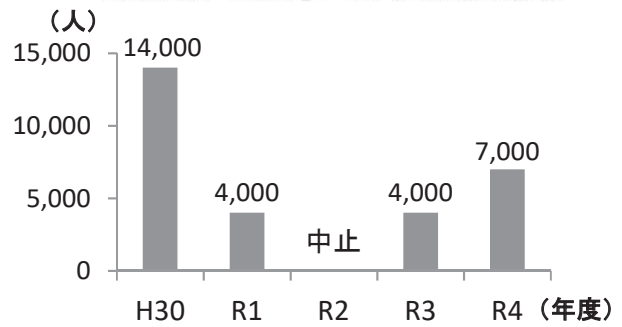
※1 雨天によりイベント一部中止のため活動なし
 ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、募集せず
 ※3 別途一般ボランティア2人参加

「週1回以上スポーツを行う」人の割合

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
割合	50.0%	36.8%	51.6%	53.7%	54.1%

※ 中央区政世論調査より試算

「区民スポーツの日」イベント参加人数の推移



※4 令和元年度は、雨天によりイベント一部中止のため参加者数減
 ※5 令和2年度は、台風接近によりイベント全部中止のため参加者なし
 ※6 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数減

4 総括

① 現状・成果・課題

・「区民スポーツの日」は、コロナ禍でありながらも、ガイドラインを遵守し、前年より規模を拡大し実施することができた。コロナ禍以前に実施していた区立4中学校および都立晴海総合高校のボランティア体験を再開させたことに加え、東京2020大会で醸成されたおもてなしの精神をレガシーとして継承していくため一般ボランティアの募集もはじめて実施した。

・障害者スポーツ体験会や障害者ポッチャ交流会、区と(一社)地域スポーツクラブ大江戸月島との協働事業である障害のある方を対象にしたスポーツ・レクリエーション教室を開催し、参加者からは好評であったが、参加者数は定員に比べて少なく、周知に課題が残った。

・地域スポーツクラブの活動について、区の広報紙に掲載するなど、広報活動の支援を行い、大江戸月島と大江戸日本橋・京橋の合同体験会では、多くの参加者から好評を得た。

・基本計画2018の対象となる5年間のうち、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる区および体育協会主催のスポーツ教室やイベントが相次いだ。令和4年度は定員を減らして十分な感染対策を講じることで、多くの教室等を実施することができた。多くの教室等で定員を超える申し込みがあったことや、「週1回以上スポーツを行う」人の割合が増加していることから、コロナ禍においてもスポーツ需要が多いことが把握できる。また、常盤小学校体育館、阪本小学校体育館および温水プールのスポーツ新規開放や月島スポーツプラザ大規模改修工事による休館の代替として確保した月島第三小学校温水プールの一般開放を継続して実施するなど学校施設を利用したスポーツの場の確保に努めた。

② 今後の方向性

・「区民スポーツの日」における中高生および一般のボランティアについて、スポーツを支える活動の場の提供として引き続き行っていく。

・障害者スポーツ体験会や障害者ポッチャ交流会など、障害者を対象としたイベントや教室を開催するにあたり、福祉部門と連携し、広く情報が行き渡るよう周知方法の見直しを図ることで参加者数を増やすとともに、参加者や運営スタッフからのアンケートを参考にしながら開催日程や内容等運営方法を検討し、参加しやすく、楽しんでいただけるイベントにしていく。

・地域スポーツクラブの活動を通じた地域コミュニティの活性化を図るため、引き続き広報活動等の支援を行っていく。

・令和6年4月に開校予定である晴海西小・中学校のスポーツ開放の実施に向けた検討を進め、スポーツ活動ができる場の確保を図っていく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート

部課名	区民部スポーツ課
-----	----------

基本政策8	豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち
施策8-4	スポーツの楽しさが広がる環境づくり
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、世代や生活スタイル、技術、興味、目的に応じて、日常的にスポーツ活動を楽しみ、親しむことができる生涯スポーツを推進します。 誰もが気軽に楽しくスポーツに取り組めるよう、ハード・ソフトの両面から、区民が身近なところでスポーツ活動ができる場を構築していきます。また、区民がスポーツに関連する必要な情報を手軽にかつ効率的に入手できる環境づくりを進めます。 各種スポーツ団体の活動支援や指導者の確保・育成を図りながら、地域スポーツを推進します。
関連する個別計画	中央区スポーツ推進ビジョン

大事業	中事業1	運動場等管理運営	中事業2	総合スポーツセンター等管理運営	中事業3	総合スポーツセンターの改修
スポーツ施設管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・スポーツおよびレクリエーションの振興を図り、区民の心身の健全な発達に寄与するよう総合的に運営を行うことを目的とする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

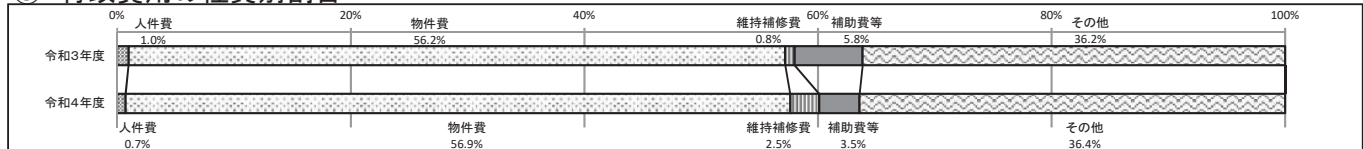
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	7,731,742	6,442,321	△1,289,421	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	442,089,199	503,477,080	61,387,881		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	6,273,080	21,987,900	15,714,820		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	45,859,456	30,545,900	△15,313,556		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	1,111,870	6,500,000	5,388,130		使用料及び手数料	12,053,672	14,046,142	1,992,470
	減価償却費	282,415,419	315,223,351	32,807,932		その他	1,642,934	1,813,852	170,918
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	13,696,606	15,859,994	2,163,388
	賞与・退職給与引当金繰入額	877,255	714,790	△162,465		行政収支差額	△772,661,415	△869,031,348	△96,369,933
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	786,358,021	884,891,342	98,533,321	通常収支差額	△772,661,415	△869,031,348	△96,369,933		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△772,661,415	△869,031,348	△96,369,933		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	490,425,807	553,990,499	63,564,692		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△282,235,608	△315,040,849	△32,805,241		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツセンター等指定管理料 413,606,554円 月島運動場等指定管理料 61,252,839円 江戸川河川敷グラウンドの借入れ 22,494,450円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツセンター等の利用料金減免補填 30,545,900円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツセンター等指定管理料増 59,942,059円 月島運動場等指定管理料増 850,617円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツセンター等の新型コロナウイルス感染症への対応に伴う指定管理料の補填皆減 △23,350,666円 総合スポーツセンター等の利用料金減免補填増 8,037,110円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツセンター非常照明用蓄電池取替工事 14,850,000円 浜町運動場キュービクル高圧ケーブル取替工事 3,982,000円 	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> 豊海テニス場使用料 6,465,200円 総合スポーツセンター食堂および自動販売機設置に係る行政財産目的外使用料 2,695,058円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツセンター非常照明用蓄電池取替工事皆増 14,850,000円 総合スポーツセンター第2小体育室漏水対策工事皆減 △2,897,620円 総合スポーツセンターCO2消火設備容器弁取替工事皆減 △2,090,000円 	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 利用実績増による月島運動場使用料増 729,700円 利用実績増による浜町運動場使用料増 592,800円 利用実績増による豊海テニス場使用料増 307,300円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

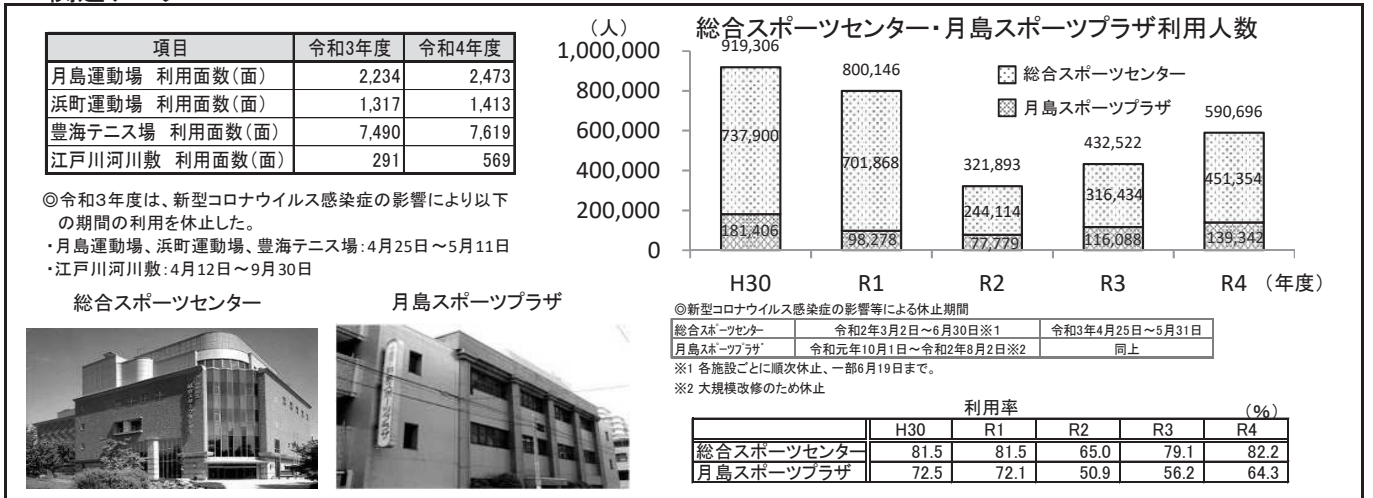
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	369,900	316,123	△53,777
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	5,786,734,266	5,489,959,909	△296,774,357	退職給与引当金	5,573,659	4,228,046	△1,345,613
工作物	195,478,965	179,224,689	△16,254,276	その他	0	0	0
重要物品	4,834,729	2,640,011	△2,194,718	負債の部合計	5,943,559	4,544,169	△1,399,390
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	5,981,104,401	5,682,669,340	△298,435,061
建設仮勘定	0	15,388,900	15,388,900	負債・正味財産の部合計	5,987,047,960	5,687,213,509	△299,834,451
その他	0	0	0				
資産の部 合計	5,987,047,960	5,687,213,509	△299,834,451				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	・総合スポーツセンター 4,811,340,861円 ・月島スポーツプラザ(機械設備) 275,569,601円 ・月島スポーツプラザ 219,327,370円	決算額の主な内訳	・月島運動場照明塔 56,187,061円 ・月島運動場防球ネット 53,257,790円 ・総合スポーツセンタープール循環ろ過設備 23,491,280円
主な増減理由	・減価償却による減 △296,774,357円	主な増減理由	・減価償却による減 △16,254,276円
勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	重要物品
決算額の主な内訳	・総合スポーツセンター大規模改修工事基本設計業務および主競技場改修実施設計業務委託 15,388,900円	決算額の主な内訳	・小型特殊用途自動車(スポーツトラックX750) 2,640,000円
主な増減理由	・総合スポーツセンター大規模改修工事基本設計業務および主競技場改修実施設計業務委託皆増 15,388,900円	主な増減理由	・トランポリン(2台)減価償却による減 △1,314,718円 ・小型特殊用途自動車(スポーツトラックX750) 減価償却による減 △880,000円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・総合スポーツセンターや月島スポーツプラザ、運動場等、スポーツ・レクリエーションを行う場を提供することで、区民の健康増進に寄与している。
・行政手続のデジタル化への対応、利用者の利便性向上のため、総合スポーツセンターおよび月島スポーツプラザにおけるキャッシュレス決済導入に向け検討を行った。
・総合スポーツセンターの大規模改修に向けて、経年劣化への対応、バリアフリー化、環境への配慮等についての方針を基本設計に盛り込んだ。
・総合スポーツセンターは、各施設の利用率が非常に高く予約が取りづらい状況にあり、今後、大規模改修も予定されていることから、ますます厳しくなることが見込まれる。
・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、新型コロナウイルス感染症感染拡大による施設の一時休止や利用制限等で利用者数の大幅な減少が見られた。こうした中でも、総合スポーツセンター、月島スポーツプラザにおける混雑具合のインターネット配信、月島スポーツプラザ大規模改修工事による施設の老朽化対応やバリアフリー化、総合スポーツセンターが東京2020大会3X3バスケットボール公式練習会場となったことを踏まえたトイレの洋式化、スポーツ課・総合スポーツセンター・月島スポーツプラザにおける学校開放および江戸川河川敷グラウンド利用料の支払受付開始等、利用者の利便性向上に取り組み、利用者数はウィズコロナへの社会経済状況の変化とも相まって、現在、回復傾向にある。

② 今後の方向性

・既存体育施設の老朽化対応を計画的に進め、安全管理のもと利用者が安心して施設を利用できるように、施設の経年劣化を調査しつつ、引き続き長寿命化を図り、維持管理を実施していく。
・総合スポーツセンター大規模改修に向けた準備の過程で、建築物省エネルギー性能表示制度に基づく認証(ZEB Ready)を取得できる可能性が出てきたことから、その実現に向けた検証を行っていく。
・総合スポーツセンターは、少しでも多くの利用者が継続して利用でき、スポーツの場の確保につながるよう、令和5年9月から、利用区分および利用時間の変更を試行的に実施する。
・国や東京都の動向を注視し、基本的な感染症対策を行いつつ、区民が身近で気軽にスポーツを楽しめる区立スポーツ施設の利用環境・利便性の向上に取り組んでいく。

